令和９年度大学院学生募集要項

文　学　研　究　科
社 会 科 学 研 究 科
生 命 環 境 科 学 研 究 科
食の文化学位プログラム

京都府立大学大学院
https://www.kpu.ac.jp/

目　次

◎　アドミッション・ポリシー ―― 1

◎　令和９年度大学院学生募集要項

１　募集人員 ―― 6
２　日　　程 ―― 6
３　出願手続 ―― 7
４　学費等納付金（入学料・授業料等） ―― １０
５　志願者氏名の表記について ―― １０

文学研究科

文学研究科学生募集要項 ―― １１
文学研究科概要 ―― １９

社会科学研究科

社会科学研究科学生募集要項（一般選抜・社会人特別選抜） ―― ２１
社会科学研究科学生募集要項（地方自治体等推薦入学） ―― ２８
社会科学研究科概要 ―― ３０

生命環境科学研究科

生命環境科学研究科学生募集要項 ―― ３２
生命環境科学研究科概要 ―― ４３

食の文化学位プログラム

食の文化学位プログラム学生募集要項 ―― ５５
食の文化学位プログラム概要 ―― ６０

不正行為について ―― ６２

出願書類関係 ―― ６３

出願必要書類一覧
研究計画書（社会科学研究科用）
学業専念承諾書（文学研究科・生命環境科学研究科用）
学業承諾書（生命環境科学研究科用）

社会人長期履修制度について ―― ７３

アドミッション・ポリシー

【文学研究科】

教育の理念・目標

国文学中国文学、英語英米文学、史学の各分野において、広い視野に立って精深な学識を授け、国際的な視野、優れた研究能力、豊かな学識を有する研究者および専門的能力を有する高度な職業人を養成します。

国文学中国文学専攻

●教育の基本方針

国文学中国文学専攻では、日本語学・日本文学・中国文学の三分野にわたって、ほぼすべての時代における研究対象について高度に専門的な研究が深められるようにカリキュラムが編成されており、特定の分野（専門種目）について専門的な知識を習得できるのはもちろん、密接に関連する分野についても十分な知識を得て研究を進められるようになっています。このような特色を反映して、中国へ留学したり、日本語教師として赴任したりする例は多く、また逆に中国からの留学希望者も多数にのぼります。こうした研究教育体制のもとで、幅広い視野に立って三分野に関わる多様な問題に対処できる研究者・専修免許を持った国語教員などの人材養成を目指しています。

●求める学生像

国文学中国文学専攻では、次のような「高度な専門知識を備えた職業人をめざす学生」ならびに「研究者をめざす学生」を求めています。

1　言語や文学、人間や社会に対して強い学術的関心と幅広い視野を持つ人
2　国際的視野と高度な専門知識・語学力を身に付け、地域社会や教育・文化交流に寄与したい人
3　既成の価値観にとらわれず、自ら問題を発見し、解決しようとする力を備えている人
4　先行研究や文献の精査に取り組む粘り強さを持ち、多角的な視点から専門分野の研究を深められる人

英語英米文学専攻

●教育の基本方針

英語英米文学専攻では、学術文化の発展に寄与する人材、また、広く社会において高度な専門的知識を活用しうる人材を養成することを目的とし、学士課程における教養教育および専門教育の上に、広い視野に立って専攻分野に関するより高度な専門的学術の教育を行います。

●求める学生像

1　英米文学（日英文化交流）・英語学に関する専門的な研究への意欲を持った人
2　英米文学（日英文化交流）・英語学の専門的な研究をするために必要な予備的知識を備えた人
3　日本語と英語の高度な言語能力を備えた人
4　科学的な手法により、論理的な思考法と表現力を使って、高度に専門的な研究を行い、その成果を様々な方法で発表できる人
5　国際的な視野を備え、英米文学（日英文化交流）・英語学の専門的知識を社会で活用できる人

史　学　専　攻

●教育の基本方針

博士前期課程においては、学部教育の基礎の上にたって、より高度な研究能力を育成し、歴史学の専門知識を活用して次の時代を担いうる人材を育成します。また、京都府の有する歴史・文化的位置や国際的環境を活かして、地域社会や日本の文化をグローバルな視点から把握し、地域社会に貢献しうる人材を育成します。

博士後期課程においては、博士前期課程（修士課程）教育の基礎の上にたって、自立して歴史学の研究を行い学界の発展に寄与しうる人材を育成します。また、歴史学の研究成果を地域社会の発展および文化遺産の保存・活用に活かしうる人材を育成します。

●求める学生像

1　学部で学んだ史資料読解の能力を基礎に、新たな歴史像を構築したい人
2　歴史学の専門的知識を活かして、研究者・専門的職業人としての能力を磨きたい人
3　歴史学の研究を通して地域社会をはじめとする人類の文化遺産を調査し、その保存と活用に貢献したい人
4　博士後期課程においては、以上に加えて、博士前期課程（修士課程）での研究成果をさらに発展させ、自立した歴史学研究者として活躍したい人

文学研究科の社会人アドミッション・ポリシー

●文学研究科の求める社会人大学院生像

学部あるいは大学院の教育課程等において学修した確かな基礎学力と専門分野における十分な知識、および社会生活を通じて培われた経験と人間性を基礎に、文学・歴史や文化の研究を通じて社会の発展に寄与しようとする志を持つ、向学心あふれる社会人学生を受け入れます。

●教育の基本方針

各専攻の教育の基本方針と同じ

【社会科学研究科】

教育の理念・目標

すべての人々が相互尊重にもとづいて生涯にわたる発達を保障される福祉社会の実現を目指し、社会と人間にかかわる多様な事象を対象としてその実態や法則性を解明するための研究能力を養成します。さらに、広い視野と責任感、批判的思考力を備えて多様な人々との協働によって地域・社会に貢献できる高度な専門性をもつ人材を育成します。

公共政策学専攻

●教育の基本方針

多様化・複雑化する社会において、法学、政治学・政策学、経済学をはじめとする社会科学の諸分野の知見に基づいて、公共的問題を自ら発見し解決する高い能力を有する研究者並びに高度専門職業人を養成することを教育目標としています。

博士前期課程では、法学、政治学・政策学、経済学の各専門分野を基盤として、地域社会が抱えている諸課題の解決に資する理論や制度、分析手法について教育研究を行います。また、学部卒業生に加えて、社会人や外国人留学生などの多様な人材を積極的に受け入れ、専門的・学際的な観点に立って、理論と実践を有機的に結びつける研究教育を行います。

博士後期課程では、公共政策研究を構成する各専門分野の「特殊研究演習」を提供するとともに、社会科学研究科の大学院生と教員の集団的討議を通じて理論の深化・発展を追求します。

●求める学生像

1　法学、政治学・政策学、経済学をはじめとする社会科学の諸分野について基礎的な学習・研究能力を有し、公共的問題について、強い関心をもってその解決に自ら貢献したいと考える人

2　社会人についてはさらに、民間企業や官公庁等において職業経験や社会経験を有し、研究を通じて理論・実践の両面においてキャリアアップをはかることを目指す人

福祉社会学専攻

●教育の基本方針

博士前期課程では、社会福祉学、社会学、心理学、教育学などの各専門分野を基盤として、国・自治体や地域の福祉活動を創造・援助するための理論と方法、および人びとの生涯発達に寄与しうる理論と方法について教育研究を進めます。そうして、これらの分野に関わる専門的研究者ならびに高度な職業人としてふさわしい専門的能力の獲得を目指します。

博士後期課程では、新たな福祉社会理論の構築を目指し、福祉社会研究を構成する諸分野の「特殊研究演習」を通じて理論的検討を深めるとともに、社会科学研究科の大学院生と教員の集団的討議を通じて理論の深化・発展を追求します。

●求める学生像

1　社会福祉学、社会学、心理学、教育学などについて基礎的な学習・研究能力を持ち、国・自治体や地域の福祉活動の発展、人びとの生涯発達への寄与あるいは福祉社会の創造について、強い関心と課題意識を持つ人

2　社会人については、行政機関や民間企業、あるいはＮＰＯや地域諸団体において職業経験や活動経験を有し、専門的な研究と学習を通じて、理論・実践の両面においてキャリアアップを図ることをめざす人

【生命環境科学研究科】

教育の理念・目標

生命科学を基盤に農学、生命科学、食保健学、物質科学などの分野からなる応用生命科学専攻、および人をとりまく生活環境から自然生態系までを連続した視点で見つめる環境科学専攻において、学際的かつ専門的な教育研究を通じて、高度な専門的能力を有する研究者および社会における実践能力や指導力を有する職業人の育成を目指します。

応用生命科学専攻

●教育の基本方針

応用生命科学専攻は、微生物、植物、動物から人までを対象に人類が直面する様々な生命科学の課題を、食の機能性・安全性を高める食科学、その基礎となる食料生産の科学、動植物や微生物の機能を解明し応用するテクノロジー、さらに生命や環境に関わる物質を分子のレベルで扱う生命物質科学などの広範な科学領域の知識と技術を駆使して研究し、人類福祉の向上と地球環境の保全のための新技術の開発を進めるとともに、これらの分野で指導的役割を担うことのできる人材の育成を目指します。

●求める学生像

生命科学に対する強い関心と基礎学力および研究課題に果敢にチャレンジする意欲を持ち、将来は専門的職業人・研究者として社会に積極的に貢献しようとする情熱のある人材を、広く求めます。

社会人については、これまで培ってきた生命科学に対する強い関心と基礎学力を有することに加えて、社会での経験を生かしさらに高いレベルでの社会貢献をめざす人を求めます。

環境科学専攻

●教育の基本方針

環境科学専攻は、人の生活が地球規模に至る自然環境の中で成り立っているという認識に基づいて身近な生活環境から自然の生態系まで有機的につながった系である環境を保全して持続的な社会を構築するため、森林、山地保全、木質資源、ランドスケープ、都市計画、建築、住居、デザイン、室内環境、情報科学、数理科学、物理学などの多様な専門分野の知識と技術を駆使して研究し、人間を取り巻く多様な環境要素および人間と環境の様々な相互関係を探求できる高度な専門知識を備え、広い視野と応用力を身につけた人材の育成を目指します。

●求める学生像

環境科学に対する強い関心と基礎学力および研究課題に果敢にチャレンジする意欲を持ち、将来は専門的職業人・研究者として社会に積極的に貢献しようとする情熱ある人材を、広く求めます。

社会人については、これまで培ってきた環境科学に対する強い関心と基礎学力を有することに加えて、社会での経験を生かしさらに高いレベルでの社会貢献をめざす人を求めます。

【食の文化学位プログラム】

教育の理念・目標

「食」が人間の生涯と社会経済活動のあらゆる場面に関係する基軸との視点から、学際的・総合的な教育研究を通じて、専門的能力を有する研究者及び高度な実践能力・指導力を有する職業人を養成します。

●求める学生像

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要となる、次のような関心・目標や能力をもった人を求めています。

〈博士前期課程〉

1．食や食文化に関わる基礎的な知識を修得し、幅広い学術的関心をもっている人
2．自らのフィールドに依拠して、食や食文化の視点から既存の領域をこえる学術的研究を志す人
3．食や食文化に関わる現実の社会問題の解決に強い関心のある人

〈博士後期課程〉

1．食や食文化に関する幅広い教養と高度な専門知識を身につけた人
2．社会との関わりの中で研究を展開する基礎的技能を有し、創造的な研究の展開を志す人
3．食や食文化を通じて人類の課題を探り、積極的に課題解決の手がかりをえるために研究を推進する意欲をもっている人

令和９年度大学院学生募集要項

１　募集人員

（人）

研　究　科	専　　攻	博士前期課程		博士後期課程	
		夏　期	冬　期	夏　期	冬　期
文学研究科	国文学中国文学専攻		5		2
	英語英米文学専攻	5	若干名	2	若干名
	史学専攻		8		3
社会科学研究科	公共政策学専攻	6	若干名		2
	福祉社会学専攻	6	若干名		2
生命環境科学研究科	応用生命科学専攻	６０	若干名		１０
	環境科学専攻	４０	若干名	5	若干名
食の文化学位プログラム			3※		1※

※食の文化学位プログラムの募集人員のうち博士前期課程は、英語英米文学専攻、公共政策学専攻、環境科学専攻の、博士後期課程は環境科学専攻の内数である。

２　日　　程

【夏　期】

	研　究　科	博士前期課程	博士後期課程
インターネット出願登録期間	文　　学 社会科学 生命環境科学	令和８年７月１日(水)～７月８日(水)正午（12時）	
出願書類の受付期間	文　　学 社会科学 生命環境科学	令和８年７月１日(水)～７月８日(水)午後５時まで ただし期限後到着した場合は、７月７日（火）以前の 消印がある書留速達郵便に限り受け付けます。	
試験実施日	文　　学 社会科学 生命環境科学	令和８年８月６日（木）	
合格発表日	文　　学 社会科学 生命環境科学	令和８年８月１７日（月）正午	
入学手続日	文　　学 社会科学 生命環境科学	令和８年１２月２５日(金)	

(注)１　各研究科のページに記載の博士前期課程　出願資格(７)、博士後期課程　出願資格(５)に該当する志願者は、出願の前に本学大学院において入学資格審査を行います。申請期間など資格審査の詳細については、各研究科のページをご覧ください。

２　社会人特別選抜に出願する場合は、あらかじめ志望する研究科が行う事前面接等を受け、出願の了解が必要です。

３　入学を志願する人で、身体等に障害(学校教育法施行令第２２条の３に定める程度、その他これに準じるもの)があり、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、願書を提出する前にあらかじめ各研究科等に相談が必要です。詳細は、各研究科のページをご覧く

ださい。
4 生命環境科学研究科に出願を希望する人は、必ず、あらかじめ希望する専門種目の教員と相談してください。

【冬　期】

	研 究 科 等	博士前期課程	博士後期課程
インターネット出願登録期間	全研究科等	令和９年１月５日(火)～１月１３日(水)正午（12時）	
出願書類の受付期間	全研究科等	令和９年１月５日(火)～１月１３日(水)午後５時まで ただし期限後到着した場合は、１月１２日（火）以前の消印がある書留速達郵便に限り受け付けます。	
試験実施日	文　　学	令和９年２月６日(土) ７日(日)	令和９年２月　９日(火) １０日(水)
	社 会 科 学	令和９年２月６日(土)	令和９年２月９日(火)
	生命環境科学	令和９年２月６日(土)	令和９年２月６日(土)
	食の文化学位プログラム	令和９年２月６日(土)	令和９年２月９日(火)
合格発表日	文　　学	令和９年２月１５日(月) 正午	令和９年２月１８日(木)正午
	社 会 科 学		
	生命環境科学		令和９年２月１５日(月)正午
	食の文化学位プログラム		令和９年２月１８日(木)正午
入学手続日	全研究科等	令和９年３月２７日(土)	

(注) 1 研究科等とは、文学研究科、社会科学研究科、生命環境科学研究科及び食の文化学位プログラムのことをいう（以下同じ。）。
2 各研究科等のページに記載の博士前期課程　出願資格(７)、博士後期課程　出願資格(５)に該当する志願者は、出願の前に本学大学院において入学資格審査を行います。申請期間など資格審査の詳細については、各研究科等のページをご覧ください。
3 社会人特別選抜に出願する場合は、あらかじめ志望する研究科等が行う事前面接等を受け、出願の了解が必要です。
4 入学を志願する人で、身体等に障害(学校教育法施行令第２２条の３に定める程度、その他これに準じるもの)があり、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、願書を提出する前にあらかじめ各研究科等に相談が必要です。詳細は、各研究科等のページをご覧ください。
5 生命環境科学研究科に出願を希望する人は、必ず、あらかじめ希望する専門種目の教員と相談してください。

3　出願手続

(1) 出願手続きの流れ
出願手続きは、下記①、②、③の順番で①～③まで全てを行うことで手続きが完了します。
①インターネット出願サイトへの情報登録
②入学考査料等の支払い
③出願書類の提出（受付期間内に必着）

郵送する場合は、出願書類を所定の封筒に封入し、受付期間内に到着するように書留速達で送付してください。期限後到着した場合は、別に定めた日までの消印のある書留速達郵便に限り、受け付けます。

(2) 出願登録前に準備するもの

パソコン等の動作環境	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等が必要です。
印刷環境	出願手続の画面から郵送が必要な書類をＰＤＦファイルでダウンロードした後、Ａ４サイズで印刷するためのプリンタが必要です。カラー印刷を原則としますが、困難な場合は、モノクロ印刷でも可とします。
メール受信環境	出願登録時に受信可能なメールアドレスが必要です。メール受信設定でドメインの設定を行っている場合は、「@sak-sak.net」を受信可能なドメインとして設定してください。
写真データ	出願登録時に証明写真（顔写真）データ（JPEG 形式）が必要です。 ※出願前３か月以内に撮影、カラー、本人のみ、正面、上半身、無帽、無地の背景、縦横比 4:3（縦横比はアップロード時に変更できます）
出願書類	各研究科等が別に定める出願書類を確認のうえ、提出期間内に間に合うよう、あらかじめ用意してください。
封筒	出願書類提出用に、市販の角形２号封筒（横 24cm×縦 33.2cm）を用意してください。

(3) インターネット出願の流れ

① インターネット出願サイトにアクセス

本学大学院入試ページ（https://www.kpu.ac.jp/graduate/exam/）からインターネット出願サイトにアクセスしてください。（本学大学院入試ページ → 「令和９年度大学院入試」 → 「インターネット出願」）

② インターネット出願登録

インターネット出願サイトの「利用案内」、「出願手順」、「Ｑ＆Ａ」等を必ず確認のうえ、画面に従って必要情報を入力してください。

※出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、最終確認画面で登録内容に誤りがないか十分に確認してください。

※志願者情報入力後、アンケート画面が表示されますので、回答にご協力ください。なお、本アンケートで収集した情報は、本学の広報活動等に利用する目的において個人が特定されないよう統計的に処理し使用するものであり、合否判定には一切関係ありません。

③ 入学考査料等の支払い

インターネット出願サイトの案内に従って、入学考査料等をお支払いください。

支払い方法は、「(4)入学考査料等の支払方法」を参照してください。

④ 出願確認票・受験票等の印刷

インターネット出願サイトから「出願確認票（大学提出用）」※、「受験票」、「宛名ラベル」を印刷してください。　※出願確認票のみ両面印刷

⑤ 出願書類の提出

角形２号封筒に④で印刷した宛名ラベルを貼り付け、各研究科等が別に定める出願書類を本学学務課入試係へ提出、または書留速達で郵送してください。

(4) 入学考査料等の支払方法

出願書類の受付期間内に出願書類が大学に到着するよう考慮の上、入学考査料等をお支払いください。必要な料金は以下のとおりです。

・入学考査料：　　３０，０００円
・支払手数料：　　９９０円
・受験票郵送料：　　４６０円　　計３１，４５０円

※入学考査料等の支払い確認後、出願サイトから出願に必要な書類を印刷できるようになります。クレジットカード以外でお支払いの場合は、支払確認に２～３時間程度かかる可能性があります。支払確認がとれないと出願に必要な書類の印刷ができませんので、時間に余裕をもって出願登録をしてください。

※出願書類の受付期間
夏期：令和８年７月　８日（水）午後５時まで
冬期：令和９年１月１３日（水）午後５時まで

支払方法は、クレジットカード・コンビニエンスストア・ＡＴＭ（ペイジー）・インターネットバンキングが利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法	取扱機関等	備考
クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMEX、DINERS	支払方法は一括払のみです。
コンビニエンスストア	セブンイレブン、ミニストップ、ファミリーマート、ローソン、セイコーマート	支払方法は現金のみです。 ※選択した支払方法の受付番号等をメモにとり、コンビニエンスストアで支払手続を行ってください。
Pay-easy（ペイジー）	Pay-easy（ペイジー）が利用可能な金融機関	金融機関で Pay-easy マークの付いているＡＴＭで支払うことができます。 ※選択した支払方法の受付番号等をメモにとり、金融機関ＡＴＭで支払手続を行ってください。
インターネットバンキング	ペイジー対応の都市銀行、地方銀行、信用金庫、PayPay 銀行、楽天銀行、住信 SBI ネット銀行 等	ご利用にはインターネットバンキングの利用契約が必要です。

(5) 出願におけるその他の注意事項
ア　出願書類受付後は、出願内容の変更はできません。また、提出書類の返却はいたしません。
イ　出願書類受付後は、入学考査料はお返ししません。ただし、入学考査料を誤って二重に払い込んだ場合及び入学考査料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合（出願が不備等により受理されなかった場合を含む）は、30,000 円及び受験票郵送料をお返ししますので、本学学務課入試係にお問い合わせください。

(6) 出願に関する問い合わせ先
京都府立大学学務課入試係　mail：nyushi@kpu.ac.jp　TEL：075-703-5144
受付時間：平日 9:00～17:00（土日祝・年末年始を除く）

４　学費等納付金（入学料・授業料等）　　※金額は改定される場合があります。

種　　類		金　　額	備　　考
入学料	甲	１６９，２００円	入学手続の日までに、所定の振込用紙で振り込んでください。
	乙	２８２，０００円	
授業料	前　期	２６７，９００円	入学後、口座引き落としにより、前期（５月。次年度以降は４月）と後期（10 月）の２回の分納となります。
	後　期	２６７，９００円	
	計	５３５，８００円	
学生教育研究災害傷害保険料　博士前期課程		２，４３０円	入学手続の日までに、所定の振込用紙で振り込んでください。
〃　博士後期課程		３，６２０円	

（注）１　入学料の甲：入学前１か年以上（令和８年４月１日以前から）引き続き京都府内に生活の本拠を置き、現に居住しており、住民票で証明可能な者
　　入学料の乙：その他の者
２　在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料を適用します。
３　経済的要件等による授業料減免制度がありますが、社会人特別選抜による入学者は、授業料減免の対象となりません。なお、社会人特別選抜による入学者に対しては、「長期履修制度」があり、長期履修が認められた場合の授業料の年額は、許可された履修期間での分納となるため、年額が低くなります（P.73「社会人長期履修制度について」参照）。
４　本学の大学院博士前期課程を令和９年３月に修了し、同年４月に博士後期課程に進学する者は、入学料は不要です。

５　志願者氏名の表記について

志願者の氏名表記は JIS 第１水準および第２水準のみとします。

出願の際には、JIS 第２水準までの文字を使用してください。外字については、JIS 第１水準および第２水準の範囲内の常用漢字へ置き換えるとともに、置き換えができない場合は、全角カタカナ表記としてください。

置き換え例：「髙 ⇒ 高」「﨑 ⇒ 崎」「濵 ⇒ 濱、浜」「吉 ⇒ 吉」など

なお、この表記は学生証、受験時から在学中及び修了後に交付する各種証明書や書類等に記載するすべての氏名を対象とします。（※学位記に関しては、希望があれば戸籍に準じる表記を受け付けますが、外字によっては対応できない場合があります。）

文　学　研　究　科

1　募　集　人　員

夏期実施分

専　攻　名	博士前期課程	博士後期課程
英語英米文学専攻	５名	２名

社会人学生を含みます。

冬期実施分

専　攻　名	博士前期課程	博士後期課程
国文学中国文学専攻	５名	２名
英語英米文学専攻	若干名	若干名
史　学　専　攻	８名	３名

いずれの専攻も社会人学生を含みます。

2　出　願　資　格

博士前期課程

次のいずれかに該当する者とします。

(1) 大学を卒業した者又は令和９年３月３１日までに卒業見込みの者
(2) 学校教育法第１０４条第７項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は令和９年３月３１日までに授与される見込みの者
(3) 外国において学校教育における１６年の課程を修了した者又は令和９年３月３１日までに修了見込みの者
(4) 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者
(5) 文部科学大臣の指定した者
(6) 外国において学校教育における１５年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院において認めた者
(7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、２２歳に達した者又は令和９年３月３１日までに２２歳に達する者

〈社会人特別選抜〉

上記(1)～(7)のいずれかに該当し、かつ、令和９年４月１日現在、３年以上の社会経験を有する者（家事従事者、退職者等を含む）とします。

出願を希望する者は、あらかじめ志望する専攻が行う事前面接を受け、出願の了解を得ることが必要です。企業等に勤務している者については、学業専念承諾書の提出が必要です。

（連絡先：学務課入試係　nyushi@kpu.ac.jp）

博士後期課程

次のいずれかに該当する者とします。

(1) 修士の学位を授与された者又は大学院修士課程を令和９年３月３１日までに修了見込みの者
(2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
(3) 文部科学大臣の指定した者
(4) 外国において学校教育における１７年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績をもって修得したものと本学大学院において認めた者
(5) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、２４歳に達した者又は令和９年３月３１日までに２４歳に達する者

〈社会人特別選抜〉

上記(1)～(5)のいずれかに該当し、かつ、令和９年４月１日現在、３年以上の社会経験を有する者（家事従事者、退職者等を含む）とします。

出願を希望する者は、あらかじめ志望する専攻が行う事前面接を受け、出願の了解を得ることが必要です。

（連絡先：学務課入試係　nyushi@kpu.ac.jp）

（注）外国人留学生で入学を志望する者は、あらかじめ当該研究科の了承を得ることが必要です。
詳細は、本学ホームページに掲載する「2027年度外国人留学生入学案内（大学院)」を参照してください。

3　出願資格における個別の入学資格審査について

博士前期課程の出願資格(7)及び博士後期課程の出願資格(5)に該当する志願者は、出願の前に本学大学院において入学資格認定のための個別の入学資格審査を行います。

なお、審査の申請手続は次のとおりですが、申請には本学所定の用紙等が必要です。所定の用紙を本学ホームページに掲載していますのでダウンロードして使用してください。なお、郵送も可能ですので学務課入試係（nyushi@kpu.ac.jp）にお問い合わせください。

(1) 申請書類

資格審査申請書、履歴書、研究計画書、活動自己申告書（博士後期課程の場合)、最終学歴の学校長が発行する卒業・修了証明書及び成績証明書

(2) 申請方法

審査を受けようとする者は、申請書類を取りそろえて、下記により提出してください。

ア　申請期間

夏期実施分

令和８年５月２２日（金）～令和８年５月２９日（金）(受付は午前９時から午後５時まで。ただし、土曜日、日曜日、祝日は除きます。)

冬期実施分

令和８年１０月１９日（月）～令和８年１０月２６日（月）(受付は午前９時から午後５時まで。ただし、土曜日、日曜日、祝日は除きます。)

イ　申請書類の提出先

京都府立大学学務課入試係

(3) 審査方法等

審査は、提出書類による書類審査とします。なお、審査結果は出願開始期日までに申請者あて書面で通知します。

4　身体等に障害のある入学志願者との事前相談

(1) 事前相談等

入学を志願する人で、身体等に障害(学校教育法施行令第２２条の３に定める程度、その他これに準じるもの)があり、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、あらかじめ本学へ連絡し相談してください。

(2) 相談受付期間

夏期実施分　令和８年　５月２２日（金）～令和８年　５月２９日（金）
冬期実施分　令和８年１０月１９日（月）～令和８年１０月２６日（月）

5　出願手続

インターネット出願サイトへの情報登録及び入学考査料等の支払いをしたうえで、出願書類を提出してください。

(1) 出願期間

	夏期実施分	冬期実施分
インターネット出願登録期間	令和８年７月１日（水） ～７月８日（水）正午（12時）まで	令和９年１月５日（火） ～１月１３日（水）正午（12時）まで
出願書類の受付期間	令和８年７月１日(水) ～７月８日(水)午後５時まで ただし期限後到着した場合は、７月７日（火）以前の消印がある書留速達郵便に限り受け付けます。	令和９年１月５日(火) ～１月１３日(水)午後５時まで ただし期限後到着した場合は、１月１２日（火）以前の消印がある書留速達郵便に限り受け付けます。

(2) 入学考査料

入学考査料等は以下のとおりです。

・入学考査料：　３０，０００円
・支払手数料：　　９９０円
・受験票郵送料：　　４６０円　　計　３１，４５０円

※博士後期課程を受験する者のうち、令和９年３月本学大学院文学研究科博士前期課程修了見込みの者は不要です。

※入学考査料等の支払い確認後、出願サイトから出願に必要な書類を印刷できるようになります。

出願書類の受付期間内に出願書類が大学に到着するよう考慮の上、入学考査料等をお支払いください。
クレジットカード以外でお支払いの場合は、支払確認に２～３時間程度かかる可能性があります。支払確認がとれないと出願書類の印刷ができませんので、時間に余裕をもって出願登録をしてください。

(3) 出願書類

提　出　書　類	注　意　事　項　等
ア　出願確認票等	インターネット出願サイトから印刷した「出願確認票（大学提出用）」※、「受験票」 ※出願確認票のみ両面印刷
イ　卒業（見込）証明書 ［博士後期課程は、修了（見込）証明書］	「２ 出願資格」を証明するもの
ウ　成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの
エ　論　　文 （冬期実施分のみ）	**博士前期課程** ・国文学中国文学専攻…　出願時点において自分の最高水準にあると思われる論文で、以下の３項目のいずれかに該当するものを１部提出してください。 ①すでに雑誌等に掲載された論文。又はそれを修正したもの ②卒業論文（写し）。又はそれを修正したもの ③上記２項目に準ずるもの。 卒業論文等が志望する専門種目と関連がないときは、志望する専門種目に関連がある論文を提出してください。 ・英語英米文学専攻…　卒業論文（写し）又はそれに代わるものを３部提出してください。なお、論文を日本語で書いている場合は、論文の英文要旨（Ａ４判用紙３枚程度）を添付してください。 社会人については、論文提出を免除します。 ・史　学　専　攻…　卒業論文（写し）又はそれに代わるものを２部提出してください。卒業論文が志望する専門種目と関連がないときは、志望する専門種目に関連がある論文を提出してください。 ＊　令和９年３月本学文学部卒業見込みの者については不要です。 **博士後期課程** ・国文学中国文学専攻…　出願時点において自分の最高水準にあると思われる論文で、以下の３項目のいずれかに該当するものを２部提出してください。 ①すでに雑誌等に掲載された論文。又はそれを修正したもの ②修士論文（写し）。又はそれを修正したもの ③上記２項目に準ずるもの 修士論文等が志望する専門種目と関連がないときは、志望する専門種目に関係がある論文を提出してください。 ・英語英米文学専攻…　修士論文（写し）又はそれに代わるものを３部提出してください。なお、論文を日本語で書いている場合は、論文の英文要旨（Ａ４判用紙５枚程度）を添付してください。 社会人については、論文提出を免除します。 ・史　学　専　攻…　修士論文（写し）又はそれに代わるものを２部提出してください。修士論文が志望する専門種目と関連がないときは、志望する専門種目に関連がある論文を提出してください。 ＊　令和９年３月本学大学院文学研究科博士前期課程修了見込みの者については不要です。

オ　研究計画書	〈夏期実施分〉 博士前期課程 ・英語英米文学専攻…研究計画書（2,000字程度）を１部提出してください。 博士後期課程 ・英語英米文学専攻…研究計画書（4,000字程度）を１部提出してください。 〈冬期実施分〉 博士前期課程 ・英語英米文学専攻…研究計画書（2,000字程度）を１部提出してください。 博士後期課程 ・国文学中国文学専攻…研究計画書（4,000字程度）を１部提出してください。 ・英語英米文学専攻…研究計画書（4,000字程度）を１部提出してください。 ・史　学　専　攻…研究計画書（4,000字程度）を１部提出してください。 ＊いずれも所定の様式はありません。

〔入学手続時に提出する書類〕※企業等に勤務している博士前期課程合格者のみ提出してください。

学業専念承諾書	本学所定の様式を使用し勤務先の長の学業専念を承諾する旨の証明を受けたもの

(4) 提出方法

角型２号封筒（33.2×24.0㎝）にインターネット出願サイトから印刷した「宛名ラベル」を貼り付け、(3)で定める出願書類を封入し、受付期間内に到着するよう提出してください。

(5) 提出先

〒606-8522　京都市左京区下鴨半木町１－５　　京都府立大学学務課入試係

電話　075-703-5144（直通）

(6) 注意事項

出願書類受付後は、出願内容の変更は認めません。また、提出書類及び入学考査料等はお返ししません。ただし、入学考査料を誤って二重に払い込んだ場合及び入学考査料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合（出願が不備等により受理されなかった場合を含む）は、30,000円及び受験票郵送料をお返ししますので、学務課入試係（nyushi@kpu.ac.jp）にお問い合わせください。

６　専門種目の選択及び入学者選考方法

本学研究科が指定する選考方法の科目（面接を含む）を１科目でも受験していない場合、失格となります。

夏期実施分

博士前期課程

(1) 選考は、学力試験（筆記試験）、面接及び出身大学の成績証明書を総合して行います。

(2) 筆記試験は専門科目及び英語表現について行います。

専門科目については、次の表のとおりです。

専　攻	専門種目	専門科目
英語英米文学専攻	英文学 日英文化交流 アメリカ文学 英語学	英語学英米文学一般（必修） 英文学 日英文化交流 アメリカ文学 英語学 志望する専門種目の１科目を選択

＊社会人特別選抜の筆記試験は、専門科目の英語学英米文学一般（必修）及び英語表現を課します。

博士後期課程

(1) 選考は、学力試験（筆記試験）、面接及び出身大学院の成績証明書を総合して行います。

(2) 筆記試験は専門科目及び英語表現について行います。

専門科目については、次の表のとおりです。

専　攻	専門種目	専門科目
英語英米文学専攻	英文学 アメリカ文学 英語学	英米文学・英語学のうち、志望する専門種目に対応する１科目を選択

＊社会人特別選抜の選考は、一般選抜と同じ学力試験を課します。

冬期実施分

博士前期課程

(1) 選考は、学力試験（筆記試験)、面接及び出身大学の成績証明書を総合して行います。
(2) 筆記試験は外国語及び専門科目について行います。

外国語は、国文学中国文学専攻志望者については、出願時に、英語・中国語より１科目を選択してください。ただし、志望する専門種目が中国文学の場合は、中国語を選択すること。英語英米文学専攻志望者については課しません。史学専攻志望者については英語１科目を必須とします。

専門科目については、次の表のとおりです。

専　　攻	専門種目	専　　門　　科　　目
国文学中国文学専攻	日本文学 日本語学 中国文学	「日本文学」「日本語学」「漢文学」「中国文学」の４科目のうち、志望する専門種目に対応する専門科目を含め２科目を選択すること。
英語英米文学専攻	英文学 日英文化交流 アメリカ文学 英語学	英語学英米文学一般（英語表現を含む。）
史学専攻	日本史学・日本文化史学 東洋史学・東洋文化史学 西洋史学・西洋文化史学 文化遺産学	「日本史学・日本文化史学」「東洋史学・東洋文化史学」「西洋史学・西洋文化史学」「考古学」「建築史学」「地理学」「文化情報学」の７科目のうち、志望する専門種目に対応する１科目を選択し、出願登録時に入力すること。（ただし、設問中には、選択した科目以外の１科目の問題を含む。）

＊社会人特別選抜
国文学中国文学専攻　学力試験のうち外国語試験を免除します。
英語英米文学専攻　一般選抜と同じ学力試験を課しますが、５(3)エの論文提出を免除します。
史学専攻　学力試験のうち外国語試験を免除します。

博士後期課程

(1) 選考は、学力試験（筆記試験)、面接及び出身大学院の成績証明書を総合して行います。
(2) 筆記試験は専門科目について行います。

専門科目については、次の表のとおりです。

専　　攻	専門種目	専　　門　　科　　目
国文学中国文学専攻	日本文学 日本語学 中国文学	「日本文学」「日本語学」「漢文学」「中国文学」の４科目のうち、志望する専門種目に対応する専門科目を含め２科目を選択すること。
英語英米文学専攻	英文学 アメリカ文学 英語学	英米文学・英語学のうち、志望する専門種目に対応する１科目を選択（英語表現を含む）
史学専攻	日本史学・日本文化史学 東洋史学・東洋文化史学 西洋史学・西洋文化史学 文化遺産学	志望する専門種目に対応する専門科目の史資料の読解問題

＊社会人特別選抜
国文学中国文学専攻　学力試験を免除します。
英語英米文学専攻　一般選抜と同じ学力試験を課しますが、５(3)エの論文提出を免除します。
史学専攻　学力試験を免除します。

〇社会人特別選抜の観点

博士前期課程

(1) 国文学中国文学専攻

提出論文と筆記試験･面接により修士論文作成に必要な日本文学・日本語学・漢文学・中国文学の基礎学力を評価します。

(2) 英語英米文学専攻

筆記試験・面接により修士論文作成に必要な英米文学・英語学・日英文化交流の基礎学力を評価します。

(3) 史学専攻

提出論文と筆記試験･面接により志望する専門領域の修士論文作成に必要な歴史・文化遺産学の基礎学力を評価します。

＊論文審査では、学部等で得た基礎学力を前提に、志望分野の研究課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

＊面接では、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本専攻が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

博士後期課程

(1) 国文学中国文学専攻

提出論文と面接により博士論文作成に必要な日本文学・日本語学・漢文学・中国文学の研究能力を評価します。

(2) 英語英米文学専攻

筆記試験･面接により博士論文作成に必要な英語学・英米文学の研究能力を評価します。

(3) 史学専攻

提出論文と面接により志望する専門種目の博士論文作成に必要な歴史・文化遺産学の研究能力を評価します。

＊論文審査では、志望分野の研究課題に対する課題発見能力、分析力、表現力等を評価します。

＊面接では、出願書類を参考に、志望動機、研究意欲、本専攻が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

7　学力試験等の日時及び試験会場

(1) 日　　時

夏期実施分

博士前期課程

月　　日	専　　攻	科　　目	時　　間
令和８年８月６日（木）	英語英米文学専攻	専　門　科　目	10時00分～12時00分
		英　語　表　現	13時00分～14時00分
		面　　接	15時00分～

面接時間が18時以降になる場合は事前に連絡します。

博士後期課程

月　　日	専　　攻	科　　目	時　　間
令和８年８月６日（木）	英語英米文学専攻	専　門　科　目	10時00分～12時00分
		英　語　表　現	13時00分～14時30分
		面　　接	15時30分～

面接時間が18時以降になる場合は事前に連絡します。

冬期実施分

博士前期課程

月　　日	専　　攻	科　　目	時　　間
令和９年２月６日（土）	国文学中国文学専攻	外　国　語 専　門　科　目	10時00分～11時30分 12時30分～14時30分
	英語英米文学専攻	専　門　科　目	10時00分～12時00分
	史　学　専　攻	外　国　語 専　門　科　目	10時00分～11時30分 12時30分～14時30分
	国文学中国文学専攻	面　接（論　文 試問等）	15時30分～
	英語英米文学専攻		14時00分～
	史　学　専　攻		15時30分～
令和９年２月７日（日）	国文学中国文学専攻	面　接（論　文 試問等）	10時00分～
	英語英米文学専攻		
	史　学　専　攻		

面接はいずれかの日で行います。面接時間が１日目の18時以降あるいは２日目になる場合は事前に連絡します。
なお、提出論文の写しを持参してください。

博士後期課程

月　　日	専　　攻	科　　目	時　　間
令和９年２月９日（火）	国文学中国文学専攻	専　門　科　目	10時00分～12時00分
	英語英米文学専攻		
	史　学　専　攻		
	国文学中国文学専攻	面　接（論　文 試問等）	14時00分～
	英語英米文学専攻		
	史　学　専　攻		
令和９年２月１０日（水）	国文学中国文学専攻	面　接（論　文 試問等）	10時00分～
	英語英米文学専攻		
	史　学　専　攻		

面接はいずれかの日で行います。面接時間が１日目の18時以降あるいは２日目になる場合は事前に連絡します。
なお、提出論文の写しを持参してください。

(2) 試験会場　京都府立大学

(3) 学力試験等受験についての注意事項

ア　試験当日は、指示された時間の３０分前までに試験場に集合してください。

イ　試験時間中に机上に置けるものは、「受験票」「黒の鉛筆又はシャープペンシル（筆記機能のみ)」「鉛筆削り（電動式を除く)」「消しゴム」「鉛筆キャップ」「時計（辞書、電卓、端末等の機能のあるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・大型のものは不可)」「眼鏡」「ハンカチ」「ティッシュペーパー（袋又は箱から取り出したもの)」「目薬」です。健康上その他やむを得ない理由により、上記以外のものを使用したい場合は、監督者の指示に従ってください。

ウ　志願者に対し宿泊施設の斡旋等は行っていません。

８　合格発表

夏期実施分

博士前期課程・博士後期課程

令和８年８月１７日（月）正午に合格者の受験番号を本学ホームページ（https://www.kpu.ac.jp/）に掲載します。

冬期実施分

博士前期課程

令和９年２月１５日（月）正午に合格者の受験番号を本学ホームページ（https://www.kpu.ac.jp/）に掲載します。

博士後期課程

令和９年２月１８日（木）正午に合格者の受験番号を本学ホームページ（https://www.kpu.ac.jp/）に掲載します。

また、合格者には、後日、合格通知書を郵送します。
なお、電話その他による問い合わせには応じられません。

９　入学資格の確認

合格後、入学資格を確認するために、卒業又は修了後、速やかに卒業証明書又は修了証明書を提出していただく必要があります。

なお、既卒者については、提出は不要です。

また、本学卒業見込者又は本学大学院博士前期課程修了見込者についても、その情報を本学で確認しますので、提出は不要です。

10　社会人学生の授業科目の履修及び研究に専念する期間

博士前期課程については、１年以上本務を離れて本研究科での授業科目の履修及び研究に専念する必要があります。企業等に勤務している者は、学業専念書を入学手続時に提出してください。

博士後期課程については、特に専念期間を設けていません。

文 学 研 究 科 概 要

1　構成及び履修科目

［国文学中国文学専攻］

専門種目	研究分野	授業科目	
		博士前期課程	博士後期課程
日本文学	上代から近代におよぶ日本文学の古典的作品を対象とする文献学的考証、訓詁注釈、また文学論的・文学史的研究 作家を対象とする伝記的考証、作家論的研究	国文学特殊研究ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB 国文学講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ 国文学演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB・ⅢA・ⅢB・ⅣA・ⅣB 国語学特殊研究ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB 国語学講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 国語学演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB 中国文学特殊研究A・B 中国文学講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 漢文学講義Ⅰ・Ⅱ 和漢比較文学講義Ⅰ・Ⅱ 中国文学演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB 専攻特別演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB	国語学特殊研究演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB・ⅢA・ⅢB 国文学特殊研究演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB・ⅢA・ⅢB 和漢比較文学特殊研究演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB・ⅢA・ⅢB 中国文学特殊研究演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB・ⅢA・ⅢB 特別総合研究ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB・ⅢA・ⅢB
日本語学	上代から現代に至る日本語の文法・語彙・音韻・方言を中心とした各分野の共時的研究・通時的研究		
中国文学	先秦から近現代におよぶ中国文学作品を対象とする文献学的考証、訓詁注釈、また文学論的・文学史的研究、および作家を対象とする伝記的考証、作家論的研究 中国古典文学と日本古典文学の比較文学的研究、また日本漢文学の作家論的、作品論的研究		

［英語英米文学専攻］

専門種目	研究分野	授業科目	
		博士前期課程	博士後期課程
英文学 日英文化交流	エリザベス朝から現代に至る英文学を、欧米言語文化全体を視野に入れて研究する。 ヴィクトリア朝から現代に至る日英文化交流を、欧米言語文化全体を視野に入れて研究する。	英文学演習ⅠA・B 英文学演習ⅡA・B 英文学演習ⅢA・B 英文学演習ⅣA・B アメリカ文学演習ⅠA・B アメリカ文学演習ⅡA・B アメリカ文学演習ⅢA・B アメリカ文学演習ⅣA・B 英語学演習ⅠA・B 英語学演習ⅡA・B 英語教育学演習ⅠA・B 英語教育学演習ⅡA・B 日英翻訳法演習ⅠA・B 日英翻訳法演習ⅡA・B 日英文化交流演習ⅠA・B 日英文化交流演習ⅡA・B 英文学講義ⅠA・B 英文学講義ⅡA・B アメリカ文学講義Ⅰ・Ⅱ 英語学講義ⅠA・B 英語学講義ⅡA・B ドイツ文学講義ⅠA・B ドイツ文学講義ⅡA・B	英文学特殊研究演習ⅠA・B 英文学特殊研究演習ⅡA・B アメリカ文学特殊研究演習A・B 英語学特殊研究演習A・B ドイツ文学特殊研究演習A・B 特殊比較研究演習A・B 特殊総合研究
アメリカ文学	１７世紀から現代に至るアメリカ文学を、欧米言語文化全体を視野に入れて研究する。		
英語学	英語学、英語教育学、翻訳学を、欧米言語文化全体を視野に入れて研究する。		

［史　学　専　攻］

専門種目	研究分野	授業科目	
		博士前期課程	博士後期課程
日本史学・ 日本文化史学	日本の古代から近代に至る政治・経済・社会・文化の歴史を総合的に研究する。	日本史演習Ⅰ・Ⅱ 日本文化史演習Ⅰ・Ⅱ 地域史演習Ⅰ・Ⅱ アジア史演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB アジア考古学演習ⅠA・ⅠB・Ⅱ 東洋史演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB 東洋文化史演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB 西洋史演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB 西洋文化史演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB 考古学演習Ⅰ・Ⅱ 地理学演習Ⅰ・Ⅱ 建築史学演習Ⅰ・Ⅱ 歴史情報学演習Ⅰ・Ⅱ 日本史特殊研究Ⅰ・Ⅱ 日本文化史特殊研究Ⅰ・Ⅱ 地域史特殊研究Ⅰ・Ⅱ アジア史特殊研究Ⅰ・Ⅱ 西洋文化史特殊研究Ⅰ・Ⅱ 文化遺産学特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ 文化遺産学講義Ⅰ・Ⅱ 日本史講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 日本文化史講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 日本考古学講義ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB 東洋史講義ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB 東洋文化史講義Ⅰ・Ⅱ アジア史講義Ⅰ・Ⅱ 西洋史講義Ⅰ・Ⅱ 史料管理学講義Ⅰ・Ⅱ 史学総合演習Ⅰ・Ⅱ	日本史特殊研究演習Ⅰ・Ⅱ 日本文化史特殊研究演習Ⅰ・Ⅱ 地域史特殊研究演習Ⅰ・Ⅱ アジア史特殊研究演習Ⅰ・Ⅱ 西洋史特殊研究演習Ⅰ・Ⅱ 文化遺産学特殊研究演習Ⅰ・Ⅱ 史学総合研究演習Ⅰ 史学総合研究演習Ⅱ 史学総合研究演習Ⅲ
東洋史学・ 東洋文化史学	中国を中心とする東アジアの古代から現代に至る政治・経済・社会・文化の歴史を総合的に研究する。		
西洋史学・ 西洋文化史学	ヨーロッパの形成期から近現代に至る政治・経済・社会・文化の歴史を総合的に研究する。		
文化遺産学	考古学・地理学・建築史学・文化情報学等を基礎に、文化遺産を中心とした歴史・地域研究を行う。		

2　修了の要件及び単位

〔博士前期課程〕

２年以上在学し所定の科目について３０単位以上を修得した上で、在学中に学位論文を提出し、その審査及び最終試験に合格した者は、国文学中国文学専攻及び英語英米文学専攻にあっては修士（文学）の、史学専攻にあっては修士（歴史学）の学位が授与されます。

〔博士後期課程〕

３年以上在学し所定の科目について１２単位以上（史学専攻にあっては８単位以上）を修得した上で、指導教授の指導のもとに作成した博士論文を提出し、論文審査に合格した者は、国文学中国文学専攻及び英語英米文学専攻にあっては博士（文学）の、史学専攻にあっては博士（歴史学）の学位が授与されます。

社　会　科　学　研　究　科
（一般選抜・社会人特別選抜）

１　募　集　人　員

夏期実施分

（博士前期課程）

専　　攻　　名	選抜区分名	募集人員
公　共　政　策　学　専　攻	一　般　選　抜	６名
	社会人特別選抜	
福　祉　社　会　学　専　攻	一　般　選　抜	６名
	社会人特別選抜	

冬期実施分

（博士前期課程）

専　　攻　　名	選抜区分名	募集人員
公　共　政　策　学　専　攻	一　般　選　抜	若干名
	社会人特別選抜	
福　祉　社　会　学　専　攻	一　般　選　抜	若干名
	社会人特別選抜	

（博士後期課程）

専　　攻　　名	選抜区分名	募集人員
公　共　政　策　学　専　攻	一　般　選　抜	２名
	社会人特別選抜	
福　祉　社　会　学　専　攻	一　般　選　抜	２名
	社会人特別選抜	

２　出　願　資　格

博士前期課程

〈一般選抜〉

次のいずれかに該当する者とします。

(1) 大学を卒業した者又は令和９年３月３１日までに卒業見込みの者
(2) 学校教育法第１０４条第７項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は令和９年３月３１日までに授与される見込みの者
(3) 外国において学校教育における１６年の課程を修了した者又は令和９年３月３１日までに修了見込みの者
(4) 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者
(5) 文部科学大臣の指定した者
(6) 外国において学校教育における１５年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院において認めた者
(7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、２２歳に達した者又は令和９年３月３１日までに２２歳に達する者

〈社会人特別選抜〉

上記(1)～(7)のいずれかに該当し、かつ、令和９年４月１日現在、３年以上の社会経験を有する者、あるいは１年以上の雇用の継続が見込まれる者、またはそれに準ずる者

出願を希望する者は、あらかじめ研究科が行う事前面接を受け、出願の了解を得ることが必要です。

（連絡先：学務課入試係　nyushi@kpu.ac.jp）

博士後期課程

〈一般選抜〉

次のいずれかに該当する者とします。

(1) 修士の学位を授与された者又は大学院修士課程を令和９年３月３１日までに修了見込みの者

(2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
(3) 文部科学大臣の指定した者
(4) 外国において学校教育における１７年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績をもって修得したものと本学大学院において認めた者
(5) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、２４歳に達した者又は令和９年３月３１日までに２４歳に達する者

〈社会人特別選抜〉

上記(1)～(5)のいずれかに該当し、かつ、令和９年４月１日現在、３年以上の社会経験を有する者、あるいは１年以上の雇用の継続が見込まれる者、またはそれに準ずる者

出願を希望する者は、あらかじめ研究科が行う事前面接を受け、出願の了解を得ることが必要です。

（連絡先：学務課入試係　nyushi@kpu.ac.jp）

（注）外国人留学生で入学を志望する者は、あらかじめ当該研究科の了承を得ることが必要です。
詳細は、本学ホームページに掲載する「2027年度外国人留学生入学案内（大学院)」を参照してください。

３　出願資格における個別の入学資格審査について

博士前期課程の出願資格(7)及び博士後期課程の出願資格(5)に該当する志願者は、出願の前に本学大学院において入学資格認定のための個別の入学資格審査を行います。

なお、審査の申請手続は次のとおりですが、申請には本学所定の用紙等が必要です。所定の用紙を本学ホームページに掲載していますのでダウンロードして使用してください。なお、郵送も可能ですので学務課入試係（nyushi@kpu.ac.jp）にお問い合わせください。

(1) 申請書類
資格審査申請書、履歴書、研究計画書、活動自己申告書、最終学歴の学校長が発行する卒業・修了証明書及び成績証明書

(2) 申請方法
審査を受けようとする者は、申請書類を取りそろえて、下記により提出してください。

ア　申請期間

夏期実施分
令和８年５月２２日（金）～令和８年５月２９日（金）（受付は午前９時から午後５時まで。ただし、土曜日、日曜日、祝日は除きます。）

冬期実施分
令和８年１０月１９日（月）～令和８年１０月２６日（月）（受付は午前９時から午後５時まで。ただし、土曜日、日曜日、祝日は除きます。）

イ　申請書類の提出先
京都府立大学学務課入試係

(3) 審査方法等
審査は、提出書類による書類審査とします。なお、審査結果は出願開始期日までに申請者あて書面で通知します。

４　身体等に障害のある入学志願者との事前相談

(1) 事前相談等
入学を志願する人で、身体等に障害(学校教育法施行令第２２条の３に定める程度、その他これに準じるもの)があり、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、あらかじめ本学へ連絡し相談してください。

(2) 相談受付期間
夏期実施分　令和８年　５月２２日（金）～令和８年　５月２９日（金）
冬期実施分　令和８年１０月１９日（月）～令和８年１０月２６日（月）

５　出願手続

インターネット出願サイトへの情報登録及び入学考査料の支払いをしたうえで、出願書類を提出してください。

(1) 出願期間

	夏期実施分	冬期実施分
インターネット出願登録期間	令和８年７月１日（水） ～７月８日（水）正午（12時）まで	令和９年１月５日（火） ～１月１３日（水）正午（12時）まで
出願書類の受付期間	令和８年７月１日(水) ～７月８日(水)午後５時まで ただし期限後到着した場合は、７月７日（火）以前の消印がある書留速達郵便に限り受け付けます。	令和９年１月５日(火) ～１月１３日(水)午後５時まで ただし期限後到着した場合は、１月１２日（火）以前の消印がある書留速達郵便に限り受け付けます。

(2) 入学考査料

入学考査料等は以下のとおりです。

・入 学 考 査 料：　３０，０００円
・支 払 手 数 料：　　９９０円
・受験票郵送料：　　４６０円　　計　３１，４５０円

※博士後期課程を受験する者のうち、令和９年３月本学大学院社会科学研究科博士前期課程修了見込みの者は不要です。

※入学考査料等の支払い確認後、出願サイトから出願に必要な書類を印刷できるようになります。出願書類の受付期間内に出願書類が大学に到着するよう考慮の上、入学考査料等をお支払いください。

クレジットカード以外でお支払いの場合は、支払確認に２～３時間程度かかる可能性があります。支払確認がとれないと出願書類の印刷ができませんので、時間に余裕をもって出願登録をしてください。

(3) 出願書類

提　出　書　類	注　意　事　項　等
ア　出願確認票等	インターネット出願サイトから印刷した「出願確認票（大学提出用）」※、「受験票」 ※出願確認票のみ両面印刷
イ　卒業（見込）証明書 ［博士後期課程は、修了（見込）証明書］	「２ 出願資格」を証明するもの
ウ　成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの
エ　研究計画書	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
オ　論　文（１本） 公共政策学専攻及び福祉社会学専攻共通	**博士前期課程** 公共政策学専攻（夏期・冬期実施分）及び福祉社会学専攻（夏期実施分）については、学力試験（筆記試験）の「総合（小論文)」を受験することにより、論文（卒業論文を含む。）の提出に代えることができます。 ・一　般　選　抜…　出願の際に論文（卒業論文を含む。）（写し）（日本語に限る。）を２部提出してください。 ・社会人特別選抜…　出願の際に論文（写し）（日本語に限る。）を２部提出してください。 ＊論文は、12,000字～20,000字程度のもので、過去５年以内に原則単著として執筆されたものとし、学術論文等の刊行物がある場合はそれに代えることができます。共著・分担執筆の著作については、本人の執筆担当箇所が明示されているものに限ります。（＊提出された論文は返却しません。） **博士後期課程** 修士論文（写し）又はそれに代わるもの（日本語に限る。）を４部提出してください。（＊提出された修士論文等は返却しません。） ＊原則単著として執筆された学術論文等の刊行物がある場合は、修士論文（写し）に代えることができます。共著・分担執筆の著作については、本人の執筆担当箇所が明示されているものに限ります。

(4) 提出方法

角型２号封筒（33.2×24.0㎝）にインターネット出願サイトから印刷した「宛名ラベル」を貼り付け、(3)で定める出願書類を封入し、受付期間内に到着するよう提出してください。

(5) 提出先

〒606-8522　京都市左京区下鴨半木町１－５　　京都府立大学学務課入試係
電話　075-703-5144（直通）

(6) 注意事項

出願書類受付後は、出願内容の変更は認めません。また、提出書類及び入学考査料等はお返ししません。ただし、入学考査料を誤って二重に払い込んだ場合及び入学考査料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合（出願が不備等により受理されなかった場合を含む）は、30,000円及び受験票郵送料をお返ししますので、学務課入試係（nyushi@kpu.ac.jp）にお問い合わせください。

６　入学者選考方法

本学研究科が指定する選考方法の科目（小論文、面接を含む）を１科目でも受験していない場合、失格となります。

夏期実施分（公共政策学専攻及び福祉社会学専攻共通）

博士前期課程

選考は、論文(卒業論文を含む。)の評価、学力試験（筆記試験）、口述試験及び出身大学の成績証明書を総合して行います。

〈一般選抜〉

(1) 学力試験（筆記試験）は、専門科目及び英語について行います。英語については、英和辞典（電子辞書を除く。）１冊を持ち込むことができます。

(2) 口述試験は、研究計画書、専門科目試験の「基礎」及び論文（卒業論文を含む。）または「総合（小論文)」の内容等について行います。

専門科目の内容は、次のとおりです。

基　　礎※1	「法律学」「政治学・政策学」「経済学」「社会福祉学」「社会学」「教育学」「心理学」の７分野から１分野を選択
総合（小論文）※2	２題中１題を選択

※１　出願の際に選択する分野をあらかじめ申し出てください。

※２　「総合（小論文)」を受験することにより、論文（卒業論文を含む。）の提出に代えることができます。

〈社会人特別選抜〉

(1) 学力試験（筆記試験）は、論文を提出しない場合、専門科目について行います。

(2) 口述試験は、研究計画書、論文または専門科目試験の「総合（小論文)」の内容等について行います。

専門科目の内容は、次のとおりです。

総合（小論文）※	２題中１題を選択

※　「総合（小論文)」を受験することにより、論文の提出に代えることができます。

冬期実施分

博士前期課程

〇公共政策学専攻

選考は、論文(卒業論文を含む。)の評価、学力試験（筆記試験）、口述試験及び出身大学の成績証明書を総合して行います。

〈一般選抜〉

(1) 学力試験（筆記試験）は、専門科目及び英語について行います。英語については、英和辞典（電子辞書を除く。）１冊を持ち込むことができます。

(2) 口述試験は、研究計画書、専門科目試験の「基礎」及び論文（卒業論文を含む。）または「総合（小論文)」の内容等について行います。

専門科目の内容は、次のとおりです。

基　　礎※1	「法律学」「政治学・政策学」「経済学」「社会福祉学」「社会学」「教育学」「心理学」の７分野から１分野を選択
総合（小論文）※2	２題中１題を選択

※１　出願の際に選択する分野をあらかじめ申し出てください。

※２　「総合（小論文)」を受験することにより、論文（卒業論文を含む。）の提出に代えることができます。

〈社会人特別選抜〉

(1) 学力試験（筆記試験）は、論文を提出しない場合、専門科目について行います。

(2) 口述試験は、研究計画書、論文または専門科目試験の「総合（小論文）」の内容等について行います。

専門科目の内容は、次のとおりです。

総合（小論文）※	２題中１題を選択

※ 「総合（小論文）」を受験することにより、論文の提出に代えることができます。

〇福祉社会学専攻

〈一般選抜〉

(1) 選考は、論文（卒業論文を含む。）の評価、学力試験（筆記試験）及び口述試験の結果と出身大学の成績証明書を総合して行います。

(2) 学力試験（筆記試験）は、専門科目及び英語について行います。英語については、英和辞典（電子辞書を除く。）１冊を持ち込むことができます。

(3) 口述試験は、研究計画書、専門科目試験の「基礎」及び論文（卒業論文を含む。）の内容等について行います。

専門科目の内容は、次のとおりです。

基　　礎※	「法律学」「政治学・政策学」「経済学」「社会福祉学」「社会学」「教育学」「心理学」の７分野から１分野を選択

※ 出願の際に選択する分野をあらかじめ申し出てください。

〈社会人特別選抜〉

(1) 選考は、論文の評価及び口述試験の結果と出身大学等の成績証明書を総合して行います。

(2) 口述試験は、研究計画書及び論文の内容等について行います。

博士後期課程（公共政策学専攻及び福祉社会学専攻共通）

〈一般選抜〉

(1) 選考は、修士論文等の評価、学力試験（筆記試験）及び口述試験の結果と研究計画書を総合して行います。

(2) 学力試験（筆記試験）は、英語について行います。英和辞典（電子辞書を除く。）１冊を持ち込むことができます。ただし、公共政策学研究科の博士前期課程に一般選抜で入学し、課程を修了した者、又は修了見込みの者には、学力試験を課しません。

(3) 口述試験は、志願者が希望する学問分野における専門的知識、提出論文の内容等に関して行います。

〈社会人特別選抜〉

(1) 選考は、修士論文等の評価、学力試験（筆記試験）及び口述試験の結果と研究計画書を総合して行います。

(2) 学力試験（筆記試験）は、総合（小論文）について行います。

(3) 口述試験は、志願者が希望する学問分野における専門的知識、提出論文の内容等に関して行います。

7　学力試験等の日時及び試験会場

(1) 日　　時

夏期実施分

博士前期課程

月　　日	専　　攻	区　　分	科　　目	時　　間
令和８年８月６日（木）	公共政策学専攻及び福祉社会学専攻	一　般　選　抜	総合（小論文）	9時00分～10時30分
			基　　礎	11時00分～12時00分
			英　　語	13時00分～14時30分
			口　述　試　験	15時00分～
		社会人特別選抜	総合（小論文）	9時00分～10時30分
			口　述　試　験	13時00分～

冬期実施分

博士前期課程

月　　日	専　　攻	区　　分	科　　目	時　　間
令和９年２月６日（土）	公共政策学専攻	一　般　選　抜	総合（小論文） 基　　礎 英　　語 口　述　試　験	9時00分～10時30分 11時00分～12時00分 13時00分～14時30分 15時00分～
		社会人特別選抜	総合（小論文） 口　述　試　験	9時00分～10時30分 13時00分～
	福祉社会学専攻	一　般　選　抜	基　　礎 英　　語 口　述　試　験	11時00分～12時00分 13時00分～14時30分 15時00分～
		社会人特別選抜	口　述　試　験	13時00分～

博士後期課程

月　　日	専　　攻	区　　分	科　　目	時　　間
令和９年２月９日（火）	公共政策学専攻	一　般　選　抜	英　　語 口　述　試　験	10時00分～11時30分 13時00分～
		社会人特別選抜	総合（小論文） 口　述　試　験	10時00分～11時30分 13時00分～
	福祉社会学専攻	一　般　選　抜	英　　語 口　述　試　験	10時00分～11時30分 13時00分～
		社会人特別選抜	総合（小論文） 口　述　試　験	10時00分～11時30分 13時00分～

(2) 試験会場　京都府立大学

(3) 学力試験等受験についての注意事項

ア　試験当日は、指示された時間の３０分前までに試験場に集合してください。

イ　試験時間中に机上に置けるものは、「受験票」「黒の鉛筆又はシャープペンシル（筆記機能のみ）」「鉛筆削り（電動式を除く）」「消しゴム」「鉛筆キャップ」「時計（辞書、電卓、端末等の機能のあるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・大型のものは不可）」「眼鏡」「ハンカチ」「ティッシュペーパー（袋又は箱から取り出したもの）」「目薬」です。健康上その他やむを得ない理由により、上記以外のものを使用したい場合は、監督者の指示に従ってください。

ウ　志願者に対し宿泊施設の斡旋等は行っていません。

８　合格発表

夏期実施分

博士前期課程

令和８年８月１７日（月）正午に合格者の受験番号を本学ホームページ（https://www.kpu.ac.jp/）に掲載します。

冬期実施分

博士前期課程

令和９年２月１５日（月）正午に合格者の受験番号を本学ホームページ（https://www.kpu.ac.jp/）に掲載します。

博士後期課程

令和９年２月１８日（木）正午に合格者の受験番号を本学ホームページ（https://www.kpu.ac.jp/）に掲載します。

また、合格者には、後日、合格通知書を郵送します。
なお、電話その他による問い合わせには応じられません。

９　入学資格の確認

合格後、入学資格を確認するために、卒業又は修了後、速やかに卒業証明書又は修了証明書を提出していただく必要があります。

なお、既卒者については、提出は不要です。

また、本学卒業見込者又は本学大学院博士前期課程修了見込者についても、その情報を本学で確認しますので、提出は不要です。

社　会　科　学　研　究　科
（地方自治体等推薦入学）

１　募　集　人　員

冬期実施分

専　　攻　　名	課　程	募集人員
公　共　政　策　学　専　攻 福　祉　社　会　学　専　攻	博士前期課程	若干名

２　出　願　資　格

下記(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ、大学が指定する地方自治体等に在籍する者で所属の長の推薦を受けた者とします。

(1) 大学を卒業した者
(2) 学士の学位を授与された者
(3) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

３　願書受付期間

(1) 令和９年１月２８日（木）から１月２９日（金）まで
(2) 受付時間は午前９時から午後５時までとします。
(3) 郵送の場合は１月２９日（金）午後５時までに到着したものとします。
ただし、期間後到着した場合は、１月２８日（木）以前の消印のある書留速達郵便に限り受け付けます。

４　願　書　提　出　先

〒606-8522　京都市左京区下鴨半木町１―５　　京都府立大学学務課入試係
電話　075-703-5144（直通）

５　出　願　手　続

入学志願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう入試係に提出してください。

必　要　書　類	注　意　事　項　等
(1) 入学願書等 （裏面の履歴も記入のこと）	本学所定の用紙（受験票含む）に必要事項を記入のうえ、出願前３か月以内に撮影した写真（単身、脱帽、上半身、正面向きのもの、横３㎝×縦４㎝）２枚を願書の所定の位置に貼り付けてください。
(2) 卒業証明書	「２　出願資格」を証明するもの 「２　出願資格」の(3)に該当する者は、本学所定の大学院入学資格認定申請書及び活動自己申告書を併せて提出してください。
(3) 成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの
(4) 推薦書	在籍する所属の長が作成したもの
(5) 研究計画書	研究計画書(2,000 字程度)を１部提出してください。
(6) 入学考査料	３０，０００円 (1) 本学所定の「入学考査料振込依頼書」により、銀行または信用金庫等の金融機関から振り込んでください。（**Ａ票への金融機関押印により入金を確認します。**） ①京都銀行から振り込む場合、手数料無料 ②その他の金融機関から振り込む場合、所定の手数料が必要 ただし、ゆうちょ銀行からの振り込みはできません。 (2) 金融機関から振り込めない場合は、ゆうちょ銀行の普通為替証書を同封してください。（普通為替証書発行には料金５５０円が必要です。） 普通為替証書の受取人欄等については、記入しないでください。

(7) 返信用封筒 （受験票送付用）	本学所定の封筒に郵便番号、住所、氏名を記載し、郵便切手（４６０円＊）を貼ってください。 ＊定形郵便物(50g まで)料金に簡易書留料金を加えた料金 料金が改定された場合は、改定後の料金で準備してください。
(8) 連絡用宛名シール	本学所定の用紙に記入してください。

○ 注 意 事 項

① 入学願書等の提出は所定の封筒を使用し、郵送される場合は必ず「書留速達」郵便としてください。
② 入学願書受付後は、願書記載事項の変更は認めません。また、提出書類及び入学考査料はお返ししません。ただし、入学考査料を誤って二重に払い込んだ場合及び入学考査料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合（出願が不備等により受理されなかった場合を含む）は、30,000 円をお返ししますので、学務課入試係（nyushi@kpu.ac.jp）にお問い合わせください。

６ 入学者選考方法

書類審査及び面接試験により行います。

７ 試験日及び試験会場

(1) 試験日
令和９年２月９日（火）（試験時間は、受験票交付の際に指示します。）

(2) 試験会場
京都府立大学

(3) 学力試験等受験についての注意事項
ア 試験当日は、指示された時間の３０分前までに試験場に集合してください。
イ 志願者に対し宿泊施設の斡旋等は行っていません。

８ 合格発表

令和９年２月１８日（木）正午に合格者の受験番号を本学ホームページ(https://www.kpu.ac.jp/)に掲載します。

また、合格者には、後日、合格通知等を郵送します。
なお、電話その他による問い合わせには応じられません。

社 会 科 学 研 究 科 概 要

【公共政策学専攻】　博士前期課程・博士後期課程

１　目的と教育課程

公共政策学専攻の目的は、法学、政治学・政策学、経済学をはじめとする社会科学の諸分野の知見に基づいて、公共的問題を自ら発見し解決する高い能力を持った研究者や高度専門職業人を養成することである。そのために、指導する教員は、法学、政治学・政策学、経済学といった幅広い専門分野から構成されており、前期課程・後期課程においてそれぞれ以下のような教育課程を編成している（令和８年度)。

博士前期課程の教育課程

特講等	公共政策論特講Ⅰ・Ⅱ	公共政策論研究
	福祉社会論研究	福祉社会論特講Ⅰ・Ⅱ
	地域社会論特講Ⅰ・Ⅱ	政治学特講Ⅰ・Ⅱ
	政策形成論特講	政策評価論特講
	計量政治学特講Ⅰ・Ⅱ	労働法特講Ⅰ・Ⅱ
	民法特講Ⅰ・Ⅱ	英米法特講Ⅰ・Ⅱ
	行政法特講Ⅰ・Ⅱ	地方財政論特講Ⅰ・Ⅱ
	環境政策論特講Ⅰ・Ⅱ	公共経済学特講
	マクロ経済学特講Ⅰ・Ⅱ	農業・農村政策論特講Ⅰ・Ⅱ
	地域金融論特講Ⅰ・Ⅱ	医療経済政策論特講Ⅰ・Ⅱ
演　習・研究指導	公共政策論演習	政治学演習
	地域社会論演習Ⅰ・Ⅱ	政策過程論演習
	政策評価論演習	民法演習
	労働法演習	地方財政論演習
	行政法演習	農業経済論演習
	環境政策論演習	医療経済政策論演習
	地域金融論演習	研究指導
	福祉社会論演習	

博士後期課程の教育課程

公共政策学特殊研究演習Ⅰ（公共政策）	公共政策学特殊研究演習Ⅱ（福祉社会）
公共政策学特殊研究演習Ⅲ（労働法）	公共政策学特殊研究演習Ⅳ（民　法）
公共政策学特殊研究演習Ⅴ（地域社会）	公共政策学特殊研究演習Ⅵ（地方財政）
公共政策学特殊研究演習Ⅶ（行政法）	公共政策学特殊研究演習Ⅷ（政治学）
公共政策学特殊研究演習Ⅸ（政策評価）	公共政策学特殊研究演習Ⅹ（環境政策）
公共政策学特殊研究演習Ⅺ（農業・農村政策）	公共政策学特殊研究演習Ⅻ（地域金融）
公共政策学特殊研究演習ⅩⅢ（政策過程）	公共政策学特殊研究演習ⅩⅣ（医療政策）
公共政策学研究指導	

２　修了要件と履修方法

前期課程では、２年以上（４年以内）在学して、必修科目（演習４単位、研究指導４単位）計８単位を含む３０単位以上を修得した上で、修士論文の審査・試験に合格すること。なお、福祉社会学専攻の科目で修得した１２単位までをこれに含めることができる。学位・称号は修士（公共政策学）とする。

後期課程では、３年以上（６年以内）在学して、公共政策学研究指導４単位、研究指導を受けようとする教員が担当する公共政策学特殊研究演習４単位の計８単位を修得した上で、博士論文の審査・試験に合格すること。学位・称号は博士（公共政策学）とする。

【福祉社会学専攻】　博士前期課程・博士後期課程

１　目的と教育課程

福祉社会学専攻の目的は、福祉社会における人間発達の可能性と筋道を研究し、地域福祉や個別援助に関する福祉課題の解決能力を有して福祉コミュニティの形成を担い、また、地域・学校・職場などにおいて福祉教育をコーディネートできる、高度な専門的能力を有する研究者や高度な職業人を養成することである。そのために、指導する教員は社会福祉学・社会学・心理学・教育学といった幅広い専門分野から構成されており、前期課程・後期課程においてそれぞれ以下のような教育課程を編成している（令和８年度）。

博士前期課程の教育課程

特講等	福祉社会論特講	福祉社会論研究
	社会福祉方法論特講Ⅰ・Ⅱ	社会福祉政策論特講
	精神保健福祉論特講Ⅰ・Ⅱ	社会病理学特講Ⅰ・Ⅱ
	環境社会学特講Ⅰ・Ⅱ	社会集団論特講
	社会心理学特講Ⅰ・Ⅱ	認知心理学特講Ⅰ・Ⅱ
	発達教育学特講Ⅰ・Ⅱ	教育福祉論特講Ⅰ・Ⅱ
	社会教育学特講Ⅰ・Ⅱ	社会保障論特講Ⅰ・Ⅱ
演　習・ 研究指導	社会福祉方法論演習	社会病理学演習Ⅰ・Ⅱ
	環境社会学演習Ⅰ・Ⅱ	社会心理学演習Ⅰ・Ⅱ
	社会教育学演習Ⅰ・Ⅱ	教育福祉論演習Ⅰ・Ⅱ
	精神保健福祉論演習Ⅰ・Ⅱ	発達教育学演習Ⅰ・Ⅱ
	認知心理学演習Ⅰ・Ⅱ	社会保障論演習Ⅰ・Ⅱ
	研究指導	

博士後期課程の教育課程

福祉社会学特殊研究演習Ⅰ（比較社会福祉）	福祉社会学特殊研究演習Ⅱ（社会福祉方法）
福祉社会学特殊研究演習Ⅲ（社会福祉政策）	福祉社会学特殊研究演習Ⅳ（社会病理学）
福祉社会学特殊研究演習Ⅴ（生涯発達・学習）	福祉社会学特殊研究演習Ⅵ（教育福祉専門職）
福祉社会学特殊研究演習Ⅶ（環境社会学）	福祉社会学特殊研究演習Ⅷ（精神保健福祉）
福祉社会学特殊研究演習Ⅸ（発達教育学）	福祉社会学特殊研究演習Ⅹ（認知心理学）
福祉社会学特殊研究演習Ⅺ（障害学）	福祉社会学特殊研究演習Ⅻ（社会保障論）
福祉社会学研究指導	

２　修了要件と履修方法

前期課程では、２年以上（４年以内）在学して、必修科目（福祉社会論特講２単位、演習４単位、研究指導４単位）計１０単位を含む３０単位以上を修得した上で、修士論文の審査・試験に合格すること。なお、公共政策学専攻の科目で修得した１２単位までをこれに含めることができる。学位・称号は、修士（福祉社会学）とする。

後期課程では、３年以上（６年以内）在学して、福祉社会学研究指導４単位、研究指導を受けようとする教員が担当する福祉社会学特殊研究演習４単位の計８単位を修得した上で、博士論文の審査・試験に合格すること。学位・称号は、博士（福祉社会学）とする。

生　命　環　境　科　学　研　究　科

生命科学を基盤に食保健学、農学、分子化学などとの統合から生まれた応用生命科学専攻、及び、人をとりまく住環境から自然環境までを連続した視点で見つめる環境科学専攻において、研究能力や高度な専門性を求められる職業を担うための卓越した能力（博士前期課程）、あるいは、研究者として自立して研究活動を行うための高度な研究能力（博士後期課程）を身につけ、社会に貢献したいという積極的な学生を募集します。

なお、本研究科では、所定の要件を満たせば社会人であっても修士あるいは博士の学位を取得することができます。

１　募　集　人　員

生命環境科学研究科に出願を希望する人は、必ず、あらかじめ希望する専門種目の教員と相談してください。

夏期実施分

専　攻　名	博士前期課程	博士後期課程
応用生命科学専攻	６０名	
環境科学専攻	４０名	５名

いずれの専攻も社会人学生を含みます。

冬期実施分

専　攻　名	博士前期課程	博士後期課程
応用生命科学専攻	若干名	１０名
環境科学専攻	若干名	若干名

いずれの専攻も社会人学生を含みます。

応用生命科学専攻博士後期課程以外の冬期実施分(第２次募集)は実施しないことがあります。

実施の有無、募集する専攻・課程等は、１１月上旬頃に本学大学院入試ページ※に掲載しますのでご確認ください。　※https://www.kpu.ac.jp/graduate/exam/

２　出　願　資　格

博士前期課程

次のいずれかに該当する者とします。

(1) 大学を卒業した者又は令和９年３月３１日までに卒業見込みの者
(2) 学校教育法第１０４条第７項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は令和９年３月３１日までに授与される見込みの者
(3) 外国において学校教育における１６年の課程を修了した者又は令和９年３月３１日までに修了見込みの者
(4) 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者
(5) 文部科学大臣の指定した者
(6) 外国において学校教育における１５年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院において認めた者
(7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、２２歳に達した者又は令和９年３月３１日までに２２歳に達する者

※　社会人特別選抜の出願資格は、上記(1)～(7)のいずれかに該当し、かつ、企業、国、地方公共団体、学校法人等に勤務している者又はこれに相当すると本学大学院において認められた者（以下「社会人志願者」という。）とします。ただし、入学手続時には、その身分を有したまま大学院生となることを所属長から許可されていること、又はこれに相当すると本学大学院において認められることが必要です。出願を希望する者は、あらかじめ志望する専門種目の担当教員の了解を得てください。

博士後期課程

次のいずれかに該当する者とします。

(1) 修士の学位を授与された者又は大学院修士課程を令和９年３月３１日までに修了見込みの者
(2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者

(3) 文部科学大臣の指定した者
(4) 外国において学校教育における１７年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績をもって修得したものと本学大学院において認めた者
(5) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、２４歳に達した者又は令和９年３月３１日までに２４歳に達する者
※ 社会人特別選抜の出願資格は、上記(1)～(5)のいずれかに該当し、かつ、企業、国、地方公共団体、学校法人等に勤務している者又はこれに相当すると本学大学院において認められた者（以下「社会人志願者」という。）とします。出願を希望する者は、あらかじめ志望する専門種目の担当教員の了解を得てください。

（注）外国人留学生で入学を志望する者は、あらかじめ当該研究科の了承を得ることが必要です。
詳細は、本学ホームページに掲載する「2027年度外国人留学生入学案内（大学院)」を参照してください。

３ 出願資格における個別の入学資格審査について

博士前期課程の出願資格(7)及び博士後期課程の出願資格(5)に該当する志願者は、出願の前に本学大学院において入学資格認定のための個別の入学資格審査を行います。

なお、審査の申請手続は次のとおりですが、申請には本学所定の用紙等が必要です。所定の用紙を本学ホームページに掲載していますのでダウンロードして使用してください。なお、郵送も可能ですので学務課入試係（nyushi@kpu.ac.jp）にお問い合わせください。

(1) 申請書類
資格審査申請書、履歴書、研究計画書、活動自己申告書（博士後期課程の場合)、最終学歴の学校長が発行する卒業・修了証明書及び成績証明書

(2) 申請方法
審査を受けようとする者は、申請書類を取りそろえて、下記により提出してください。

ア 申請期間
夏期実施分
令和８年５月２２日（金）～令和８年５月２９日（金）(受付は午前９時から午後５時まで。ただし、土曜日、日曜日、祝日は除きます。)
冬期実施分
令和８年１０月１９日（月）～令和８年１０月２６日（月）(受付は午前９時から午後５時まで。ただし、土曜日、日曜日、祝日は除きます。)

イ 申請書類の提出先
京都府立大学学務課入試係

(3) 審査方法等
審査は、提出書類による書類審査とします。なお、審査結果は出願開始期日までに申請者あて書面で通知します。

４ 身体等に障害のある入学志願者との事前相談

(1) 事前相談等
入学を志願する人で、身体等に障害(学校教育法施行令第２２条の３に定める程度、その他これに準じるもの)があり、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、あらかじめ本学へ連絡し相談してください。

(2) 相談受付期間
夏期実施分　令和８年　５月２２日（金）～令和８年　５月２９日（金）
冬期実施分　令和８年１０月１９日（月）～令和８年１０月２６日（月）

５ 出願手続

出願を希望する方は、あらかじめ希望する専門種目の教員と相談してください。

その後、インターネット出願サイトへの情報登録及び入学考査料の支払いをしたうえで、出願書類を提出してください。

(1) 出願期間

	夏期実施分	冬期実施分
インターネット出願登録期間	令和８年７月１日（水） ～７月８日（水）正午（12時）まで	令和９年１月５日（火） ～１月１３日（水）正午（12時）まで
出願書類の受付期間	令和８年７月１日(水) ～７月８日(水)午後５時まで ただし期限後到着した場合は、７月７日（火）以前の消印がある書留速達郵便に限り受け付けます。	令和９年１月５日(火) ～１月１３日(水)午後５時まで ただし期限後到着した場合は、１月１２日（火）以前の消印がある書留速達郵便に限り受け付けます。

(2) 入学考査料

入学考査料等は以下のとおりです。

・入学考査料：　３０，０００円
・支払手数料：　　９９０円
・受験票郵送料：　　４６０円　　計３１，４５０円

※博士後期課程を受験する者のうち、令和９年３月本学大学院生命環境科学研究科博士前期課程修了見込みの者は不要です。

※入学考査料等の支払い確認後、出願サイトから出願に必要な書類を印刷できるようになります。出願書類の受付期間内に出願書類が大学に到着するよう考慮の上、入学考査料等をお支払いください。

クレジットカード以外でお支払いの場合は、支払確認に２～３時間程度かかる可能性があります。支払確認がとれないと出願書類の印刷ができませんので、時間に余裕をもって出願登録をしてください。

(3) 出願書類

提出書類	注意事項等
ア　出願確認票等	インターネット出願サイトから印刷した「出願確認票（大学提出用）」※、「受験票」 ※出願確認票のみ両面印刷
イ　卒業（見込）証明書［博士後期課程は、修了（見込）証明書］	「２ 出願資格」を証明するもの
ウ　成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの
エ　志望理由書	**博士前期課程** 志望理由書（A4用紙１枚片面使用、1,200字程度）を１部提出してください。
オ　TOEIC Listening & Reading スコア公式認定証	入学試験日の前月末までの２年間に実施された TOEIC Listening & Reading スコアの公式認定証 （原本を提出すること。提出された認定証は返却しません。「TOEIC デジタル公式認定証」をプリントアウトしたものも可。ただし QR コードを読み取ることができ、かつ「認証」が確認できるものに限ります。） 応用生命科学専攻 博士前期課程：志願者全員（社会人志願者を含む）が提出すること。 博士後期課程：他大学大学院からの志願者で、栄養科学、食品科学、食環境安全性学、食事科学、健康科学、分子栄養学、動物機能学、動物衛生学の専門種目を志望する者は提出すること。 環境科学専攻 博士前期課程：志願者全員が提出すること（生活環境科学及び森林科学出題分野の社会人志願者は不要）。 博士後期課程：不要 ＊試験日までに TOEIC 公式認定証を取得する見込みの者で、出願書類受付期間内に準備できない場合に限り、学力試験（筆記試験または口述試験）時に公式認定証を提出することができる。該当者は、TOEIC Listening & Reading 公開テストを受験したことを示すもの（受験票の写し等）を提出すること。 ＊提出した認定証を差し替えたい者は、学力試験時にその旨を申し出て、新たな認定証を提出することができる。
カ　研究内容の概要及び研究計画書	**博士後期課程** これまでに行った研究内容の概要及び研究計画書（それぞれ A4用紙で3,000字程度にまとめたもの）を各１部提出してください。

キ　研究業績又は業務報告	社会人志願者のみ提出してください。 これまでに行った研究、特許、実務経験などを記載したもの（A4用紙使用、形式は自由）を各１部提出してください。

(4) 提出方法

角型２号封筒（33.2×24.0㎝）にインターネット出願サイトから印刷した「宛名ラベル」を貼り付け、(3)で定める出願書類を封入し、受付期間内に到着するよう提出してください。

(5) 提出先

〒606-8522　京都市左京区下鴨半木町１－５　　京都府立大学学務課入試係

電話　075-703-5144（直通）

(6) 注意事項

①出願書類受付後は、出願内容の変更は認めません。また、提出書類及び入学考査料等はお返しません。ただし、入学考査料を誤って二重に払い込んだ場合及び入学考査料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合（出願が不備等により受理されなかった場合を含む）は、30,000円及び受験票郵送料をお返ししますので、学務課入試係（nyushi@kpu.ac.jp）にお問い合わせください。

②博士前期課程の合格者のうち、現在、企業等に勤務している者は、入学手続時に学業専念承諾書（本学所定の様式を使用し、勤務先の長の学業専念を承諾する旨の証明を受けたもの）を提出していただきます（「10 社会人学生の授業科目の履修及び研究に専念する期間」を参照）。

③企業等への勤務が内定している者は、入学手続時に学業承諾書（本学所定の様式を使用し、勤務内定先が承諾する旨の証明を受けたもの）を提出して頂きます。

６　専門種目の選択及び入学者選考方法

本学研究科が指定する選考方法の科目（小論文、面接を含む）を１科目でも受験していない場合、失格となります。

志望する専門分野の選択に際して、応用生命科学専攻の生命物質科学出題分野、環境科学専攻の森林科学及び生活環境科学出題分野の場合は、志望する専門種目・専門分野（注）を選択してください。それ以外の出題分野では、志望する専門種目を選択してください。

博士前期課程においては、第１志望と同一の出題分野内であれば、いずれの専門種目又は専門分野も第２志望として選択できます（ただし応用生命科学専攻の植物生産テクノサイエンス学出題分野は第１志望に限ります)。なお、第２志望を選択する場合は、第１志望に加えて第２志望の専門種目（生命物質科学、森林科学及び生活環境科学出題分野にあっては専門分野）の教員との事前の面談も必須です。

博士後期課程にあっては、第１志望に限ります。

(注)　生命物質科学、森林科学及び生活環境科学の教員名と専門分野名は、表３に示すとおりです。

博士前期課程

(1) 選考は、学力試験（筆記試験)、志望理由書、 面接・口述試験、出身大学の成績及び TOEIC Listening ＆ Reading のスコアを総合して行います。

(2) 応用生命科学専攻の学力試験（筆記試験）は、出題分野ごとに表１に記載する出題科目について行います。

＊社会人志願者の場合は筆記試験を免除し、志望理由書等の提出書類と専門種目に係る口述試験の結果及び TOEIC Listening ＆ Reading のスコアを総合して合否を判定します。

(3) 環境科学専攻の学力試験（筆記試験）は、出題分野ごとに表２に記載する出題科目について行います。

＊社会人志願者の場合は筆記試験を課しませんが、志望理由書等の提出書類（数物・情報環境学出題分野を受験する場合のみ、TOEIC Listening ＆ Reading の公式認定証を含む）と専門種目に係る口述試験の結果を総合して合否を判定します。

博士後期課程

選考は、面接・口述試験、研究内容の概要、研究計画書及び博士前期課程(修士課程)の学業成績等により総合的に行います。口述試験の面接では、パソコンによるプレゼンテーションを行っていただきます。なお、他大学大学院からの志願者で、応用生命科学専攻の専門種目の栄養科学、食品科学、食環境安全性学、食事科学、健康科学、分子栄養学、動物機能学、動物衛生学を志望する場合は、面接・口述試験及び TOEIC Listening ＆ Reading のスコアを総合して選考を行います。

＊面接・口述試験の時間及び詳細は、出願書類受付後、お知らせします。

【表１】応用生命科学専攻の出題科目

専攻	専門種目	出題分野	出題科目
応用生命科学専攻	植物育種学	植物生産テクノサイエンス学	志望する専門種目に対応する科目と共通科目の生物学。なお、生物学の出題範囲は、大学の教養教育課程で履修する程度とする。
	野菜花卉園芸学		
	果樹園芸学		
	細胞工学		
	農業生態学		
	農業経営学		
	応用昆虫学		
	昆虫情報学		
	土壌学		
	栄養科学	食保健学	**＜夏期実施分＞** 食保健学出題分野の５専門種目と動物機能科学出題分野の３専門種目の合計８専門種目から、志望する専門種目に対応する科目を含め３科目を選択する。 **＜冬期実施分＞** 食保健学出題分野の５専門種目から、志望する専門種目に対応する科目を含め３科目を選択する。
	食品科学		
	食環境安全性学		
	食事科学		
	健康科学		
	分子栄養学	動物機能科学	**＜夏期実施分＞** 食保健学出題分野の５専門種目と動物機能科学出題分野の３専門種目の合計８専門種目から、志望する専門種目に対応する科目を含め３科目を選択する。 **＜冬期実施分＞** 動物機能科学出題分野の３専門種目から、１つの科目を選択し、受験出願時に申請すること。ただし、受験科目は志望する専門種目に関係なく、３科目の中から自由に選択できる。
	動物機能学		
	動物衛生学		

専攻	専門種目	出題分野	出題科目
応用生命科学専攻	遺伝子工学	植物分子生物学	**＜夏期実施分＞** 植物分子生物学出題分野の基礎となる必須問題を１題出題し、全員が解答する。これに加えて遺伝子工学、植物病理学、植物分子生物学、植物ゲノム情報学、植物成分化学の５科目から１題ずつ合計５題の選択問題を出題する。この５題から１題を選択し解答する*。なお、出題範囲は大学の理科系学部の概ね１～３学年で履修する内容とする。 （* R8年度実施試験については、現植物成分化学専門種目担当教員の退職・後任教員未定のため、本専門種目への募集は行わず、植物成分化学を除いた4科目から１題を選択し解答する） **＜冬期実施分＞** 遺伝子工学、植物病理学、植物分子生物学、植物ゲノム情報学、植物成分化学の５科目の中から、１科目を受験科目として選択し、受験出願時に申請すること。ただし、受験科目は、志望する専門種目に関係なく、上記５科目の中から自由に選択できる**。 （** R8年度実施試験については、冬期実施分の募集開始時までに植物成分化学専門種目後任教員が決定されない場合は、本専門種目への募集は行わず、植物成分化学を除いた4科目から１題を選択し解答する）
	植物病理学		
	植物分子生物学		
	植物ゲノム情報学		
	植物成分化学		
	微生物機能化学	生命物質科学	**＜夏期実施分＞** 次の４科目（物理化学、有機化学、無機・分析化学、生化学・細胞生物学）から各３題の合計１２題を出題する。この１２題の中から４題を、志望する専門種目に関係なく選択し解答すること。なお、出題範囲は大学の理科系学部の概ね１～３学年で履修する内容とする。 **＜冬期実施分＞** 次の専門分野から、受験科目に応じて出題する。専門分野は、「微生物機能化学、無機材料化学、機能分子合成化学、超分子合成化学、生体分子建築化学、生命構造化学、高次細胞機能化学、医薬分子構築化学、光機能物質化学、生命物理化学、機能分子解析化学、計算化学」の１２科目である。この１２科目の中から１科目を受験科目として選択し、受験出願時に申請すること。 ただし、受験科目は、志望する専門種目に関係なく上記１２科目の中から１科目を自由に選択することができる。いずれの科目も、その科目に関係する基礎分野の内容を含むものとする。教員名と専門分野名は、表3に示すとおりです。
	物質創成化学		
	機能創成化学		
	システム創成化学		

【表２】環境科学専攻の出題科目

<table>
<tr><th>専攻</th><th>専門種目</th><th>出題分野</th><th>出題科目</th></tr>
<tr><td rowspan="6">環境科学専攻</td><td>森林生態学</td><td rowspan="3">森林科学</td><td rowspan="3">専門基礎科目２問、専門科目１問の３問を解答すること。
【専門基礎科目】
１　自然科学に関する基礎的な英語　１問
２　森林科学に関する基礎的な問題　１問
上記２については、左の３専門種目から２問ずつ出題する合計６問のうち、志望する専門種目以外の４問から１問を選択。ただし、第２志望の専門種目が第１志望の専門種目と異なる場合は、第２志望の専門種目を選択すること。
【専門科目】
志望する専門分野（担当教員および主な研究テーマは表３を参照）の問題を選択
・森林生態学専門種目
専門分野：森林生態学（出題範囲：森林生態学）
森林生理生態学（出題範囲：森林生理生態学、森林保護学）
森林植生学（出題範囲：森林植生学、森林植物学）
森林資源循環学（出題範囲：森林資源循環学、物質循環学）
・流域保全学専門種目
専門分野：森林計画学（出題範囲：森林計画学、森林計測学）
流域情報学（出題範囲：流域情報学）
山地防災学（出題範囲：山地防災学、森林水文学）
砂防学（出題範囲：砂防学、渓流水理学）
・森林資源学専門種目
専門分野：生物材料物性学（出題範囲：木材物理学、木材組織学）
生物材料利用化学（出題範囲：生物材料利用化学）
木材利用システム学（出題範囲：木材利用システム学）</td></tr>
<tr><td>流域保全学</td></tr>
<tr><td>森林資源学</td></tr>
<tr><td>住環境文化学</td><td rowspan="3">生活環境科学</td><td rowspan="3">下記の３専門種目、１５の専門科目から３科目を選択すること。
ただし、第１志望の専門分野の科目は必ず選択すること。第２志望がある場合はその科目も必ず選択すること。
・住環境文化学：環境配慮型生活学、生活文化学、都市計画学、住居建築史学、住生活学
・住環境計画学：建築計画学、居住福祉計画学、建築・インテリア意匠学、建築・インテリア設計学、構造デザイン学
・住環境機構学：建築都市環境学、木質構造学、ランドスケープ学、視環境計画学、住環境防災学
各専門科目の指定参考書及び出題範囲等は、表４に示すとおりである。
問題は、この指定参考書の範囲から出題される。</td></tr>
<tr><td>住環境計画学</td></tr>
<tr><td>住環境機構学</td></tr>
</table>

専攻	専門種目	出題分野	出題科目
環境科学専攻	環境応用情報学	数物・情報環境学	【夏期】下記３専門種目の計６問から３問を解答すること。ただし、第１志望の専門種目の問題を１問以上解答すること。第２志望の専門種目がある場合は、第２志望の専門種目の問題も１問以上解答すること。 【冬期】第１志望の専門種目の問題を２問解答すること。 ・環境応用情報学：情報科学（計２問） ・環境応用数理学：応用数学（計２問） ・環境計測学：物理学（計２問）
	環境応用数理学		
	環境計測学		

【表３】応用生命科学専攻 生命物質科学、環境科学専攻 森林科学及び生活環境科学の教員名と専門分野

専攻	出題分野	専門種目	教員名	専門分野	主な研究テーマ
応用生命科学専攻	生命物質科学	微生物機能化学	辻本　善之	微生物機能化学	自然界からの有用微生物の探索およびその解析と応用、醸造微生物の機能解析
		物質創成化学	斧田　宏明	無機材料化学	多様な無機化合物の反応を活用した、環境負荷が小さく、生体にやさしい無機材料の作製
			椿　　一典 今吉亜由美	機能分子合成化学	精密有機合成化学を基本に据え、分子認識化学・構造有機化学・分子機能化学へ研究を展開し、高機能性材料や診断試薬、医農薬を創成
			沼田　宗典	超分子合成化学	機能性分子の合成と分子集積化学を基盤として、新たな高機能物質を創りだし、機能材料・生体適合材料へと応用する研究を展開
		機能創成化学	安部　　聡	生体分子建築化学	タンパク質などの生体分子の集積化反応を利用したバイオ機能材料の設計・構築・機構解明に関する研究
			高野　和文 田中　俊一	生命構造化学	タンパク質の形作りに着目した生命現象の解明と天然の機能を超える人工タンパク質の設計と応用
			佐野　　智	高次細胞機能化学	細胞内のタンパク質の生体機能と細胞レベルでの生物応答の制御機構に関する研究
		システム創成化学	杉本　健士	医薬分子構築化学	生物活性物質・医薬品などの複雑な三次元構造をもつ生体制御分子の精密構築法の開拓と、それに利用可能な効率的有機分子変換反応の開発を展開
			堀内　宏明	光機能物質化学	光化学・物理化学に基づく、光ガン治療に用いる光感受性薬剤の高機能化・多機能化の研究
			織田　昌幸	生命物理化学	抗体や酵素などタンパク質の動的構造と機能との相関解明
			久保　拓也	機能分子解析化学	有機無機複合型の新規材料の合成と固液界面における原子、分子間相互作用に基づく革新的な分離技術に関する基礎研究と医薬品／環境計測への応用
			リントゥルオト　正美	計算化学	量子化学、分子動力学計算を用いた酵素反応機構やタンパク質の機能と構造の関連性の解明

専攻	出題分野	専門種目	教員名	専門分野	主な研究テーマ
環境科学専攻	森林科学	森林生態学	市榮　智明	森林生態学	森林植物の生態、繁殖メカニズム、環境ストレス応答、生物間相互作用に関する研究
			上田　正文	森林生理生態学	樹木の生態・健康度および水分生理に関する研究
			平山貴美子 佐々木尚子	森林植生学	森林動態、生物間相互作用、人と自然の相互関係史、植生変遷等に関する研究
			宮藤　久士 糟谷　信彦	森林資源循環学	森林の物質循環、エネルギー循環、資源の循環的利用に関する研究
		流域保全学	長島　啓子 中田　康隆	森林計画学	森林およびその資源の調査、解析、予測、計画、管理、評価に関する研究
			美濃羽　靖	流域情報学	流域環境（気象，水，土砂，河川，湖沼など）の調査・実験・解析、流域と社会・経済との相互作用等に関する研究
			勝山　正則	山地防災学	森林流域における水循環・水質形成機構、気候変動に対する森林流域の長期水応答の変化に関する研究
			三好　岩生 高濱淳一郎	砂防学	山地流域からの水・土砂流出、土砂災害の発生機構、荒廃山地の緑化・森林保全、地域防災システムに関する研究
		森林資源学	古田　裕三 神代　圭輔	生物材料物性学	木材や竹材等の生物材料とこれら生物材料を用いた木質系材料の組織構造、物性に関する研究
			細谷　隆史	生物材料利用化学	木材およびその構成成分の化学分解法とその分子機構に関する研究
			渕上　佑樹	木材利用システム学	木材利用の公益的価値の定量化に関する研究
	生活環境科学	住環境文化学	山川　　肇	環境配慮型生活学	環境配慮型生活の促進・循環型社会の形成に関する研究
			松田　法子	生活文化学	都市・地域・建築に関する生活文化論的・史学的・美学的研究
			関口　達也	都市計画学	都市計画、都市現象、都市政策に関する研究
			辻　槙一郎	住居建築史学	住居建築史学に関する研究
			稲田　浩也	住生活学	住宅・居住資源の再編と活用に関する研究
		住環境計画学	河合　慎介	建築計画学	使われ方による平面型の評価・医療施設の計画に関する研究
			鈴木　健二	居住福祉計画学	高齢者を中心とした居住施設・福祉施設の計画に関する研究
			奥矢　　恵	建築・インテリア意匠学	建築・インテリア空間の意匠に表れる地域性や時間性に関する研究
			森田　一弥	建築・インテリア設計学	空間のデザイン手法に関する研究
			井上　祥子	構造デザイン学	建築構造解析、木材の材料特性に関する研究
		住環境機構学	長野　和雄	建築都市環境学	夏涼しく冬暖かい暮らしと住まいの研究
			田淵　敦士	木質構造学	伝統木造建築の耐震性能評価や保存技術に関する研究
			福井　　亘	ランドスケープ学	ランドスケープ及び景観生態に関する研究
			石川　敦雄	視環境計画学	建築・都市の視環境及び環境心理学に関する研究
			荒木　裕子	住環境防災学	住環境防災学に関する研究

【表４】環境科学専攻 生活環境科学出題分野の専門科目の指定参考書及び出題範囲

【住環境文化学】
- 環境配慮型生活学（『３Ｒ・気候変動検定公式テキスト』、一般社団法人 持続可能環境センター編、ミネルヴァ書房、2024）
- 生活文化学（『日本都市史・建築史事典』、都市史学会編、P.4～7、42～45、94～97、104～129、184～188、194～211、272～285、294～303、326～327、丸善出版、2018）
- 都市計画学（『都市計画 第４版』、川上光彦、第10章・第12章を除く、森北出版、2021）
- 住居建築史学（『カラー版 建築と都市の歴史』、光井渉・太記祐一編著、Ｉ日本建築史、井上書院、2013、および『日本建築史図集 新訂第三版』、日本建築学会編、図版ページ、彰国社、2011）
- 住生活学（『未来の住まい――住宅研究のフロンティアはどこにあるのか』、野城智也ほか著、柏書房、2019）

【住環境計画学】
- 建築計画学（『設計力を育てる建築計画100選』、今井正次他、第１章・第３章、共立出版、2015）
- 居住福祉計画学（『住むための建築計画』、佐々木誠他、第３章から第８章、彰国社、2013）
- 建築・インテリア意匠学（『日本の建築意匠』、平尾和洋・青柳憲昌・山本直彦編著、第４章を除く、学芸出版社、2016）
- 建築・インテリア設計学（『テキスト建築意匠』、平尾和洋・末包伸吾編著、学芸出版社、2006）
- 構造デザイン学（『新・建築材料Ｉ＜第２版＞[構造材料編]』、田上享二他、第1章・第3章、数理工学社、2021、『建築構造力学　図説・演習Ｉ 第2版』、中村恒善編著、第8章、丸善出版、1994、および『建築構造力学　図説・演習 II 第2版』、中村恒善編著、第2章、第6章、丸善出版、1994）

【住環境機構学】
- 建築都市環境学（『図説 建築環境』、松原斎樹・長野和雄編著、学芸出版社、2017、および『図説 建築設備』、村川三郎監修／芳村恵司・宇野朋子編著、学芸出版社、2016）
- 木質構造学（『新・建築材料Ｉ＜第２版＞[構造材料編]』、田上享二他、第２章、数理工学社、2021、および『建築構造力学　図説・演習Ｉ 第2版』、中村恒善編著、第1章～第7章、第9章から第10章および第12章、丸善出版、1994）
- ランドスケープ学（『造園学概論』、亀山章監修、朝倉書店、2021）
- 視環境計画学（『図説 建築環境』、松原斎樹・長野和雄編著、第３章、学芸出版社、2017、および『生活の色彩学』、橋本令子・石原久代編著、第２章から第７章、朝倉書店、2019）
- 住環境防災学（『改訂版 都市防災学：地震対策の理論と実践』、梶秀樹・塚越功編著、学芸出版社、2012）

（注）頁及び章等の記載のないものについては、全章が範囲となります。

７　学力試験等の日時及び試験会場

(1) 日　　時

夏期実施分

博士前期課程

月　　日	専　　攻	科　　目	時　　間
令和８年８月６日（木）	応用生命科学専攻	専　門　科　目	10時00分～12時00分
		面接・口述試験	13時00分～
	環 境 科 学 専 攻	専　門　科　目	10時00分～12時00分
		面接・口述試験	13時00分～

博士後期課程

月　　日	専　　攻	科　　目	時　　間
令和８年８月６日（木）	環境科学専攻	面接・口述試験	11時00分～

面接・口述試験の時間は出願書類受付後、お知らせします。

冬期実施分

博士前期課程

月　　日	専　　攻	科　　目	時　　間
令和９年２月６日（土）	応用生命科学専攻	専　門　科　目	10時00分～12時00分
		面接・口述試験	13時00分～
	環 境 科 学 専 攻	専　門　科　目	10時00分～12時00分
		面接・口述試験	13時00分～

博士後期課程

月　　日	専　　攻	科　　目	時　　間
令和９年２月６日（土）	応用生命科学専攻	面接・口述試験	13時00分～
	環 境 科 学 専 攻	面接・口述試験	11時00分～

面接・口述試験の時間は出願書類受付後、お知らせします。

(2) 試験会場　京都府立大学

(3) 学力試験等受験についての注意事項

ア　試験当日は、指示された時間の３０分前までに試験場に集合してください。

イ　試験時間中に机上に置けるものは、「受験票」「黒の鉛筆又はシャープペンシル（筆記機能のみ)」「鉛筆削り（電動式を除く)」「消しゴム」「鉛筆キャップ」「時計（辞書、電卓、端末等の機能のあるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・大型のものは不可)」「眼鏡」「ハンカチ」「ティッシュペーパー（袋又は箱から取り出したもの)」「目薬」です。健康上その他やむを得ない理由により、上記以外のものを使用したい場合は、監督者の指示に従ってください。

ウ　志願者に対し宿泊施設の斡旋等は行っていません。

エ　出願書類提出時に TOEIC 公式認定証を提出しなかった者、および出願書類として提出した TOEIC 公式認定証を差し替えたい者は、専門科目試験時に TOEIC 公式認定証を提出してください。

８　合格発表

夏期実施分

博士前期課程・博士後期課程

令和８年８月１７日（月）正午に合格者の受験番号を本学ホームページ（https://www.kpu.ac.jp/）に掲載します。

冬期実施分

博士前期課程・博士後期課程

令和９年２月１５日（月）正午に合格者の受験番号を本学ホームページ（https://www.kpu.ac.jp/）に掲載します。

また、合格者には、後日、合格通知書を郵送します。
なお、電話その他による問い合わせには応じられません。

９　入学資格の確認

合格後、入学資格を確認するために、卒業又は修了後、速やかに卒業証明書又は修了証明書を提出していただく必要があります。

なお、既卒者については、提出は不要です。

また、本学卒業見込者又は本学大学院博士前期課程修了見込者についても、その情報を本学で確認しますので、提出は不要です。

10　社会人学生の授業科目の履修及び研究に専念する期間

博士前期課程については、１年以上本務を離れて本研究科での授業科目の履修及び研究に専念する必要があります。ただし、本研究科がこれに準ずると認めた場合は、本研究科の授業科目の履修及び研究に専念する他の形態を認めることがあります。なお、長期履修制度を利用する場合は、学業専念承諾書の提出に準ずる他の形式を認めることがあります。

博士後期課程については、特に専念期間を設けていません。

生 命 環 境 科 学 研 究 科 概 要

[応用生命科学専攻]

応用生命科学専攻は、微生物、植物、動物からヒトまでを対象にして、人類が直面しているさまざまな生命科学の課題を、食の機能性・安全性を高める食科学、その基礎となる食料生産の科学、動植物や微生物の機能を解明し応用するテクノロジー、さらに生命や環境に関わる物質をミクロのレベルで扱う生命物質科学など広範な科学領域の知識と技術を駆使して研究し、人類福祉の向上と地球環境の保全のための新技術の開発をめざします。そして、これらの分野で指導的役割を担うことのできるエキスパートを育成します。

研究室の教員と研究内容

専門種目と教員氏名	教育研究概要（●以下は主要な研究テーマ）
植物育種学 教授　松島良 rmatsu〇kpu.ac.jp 准教授　大坪憲弘 nohtsubo〇kpu.ac.jp	人口増加や気候変動に対応した食料生産に貢献する作物の遺伝的改良を目指して、ゲノムや遺伝子情報を利用した遺伝育種的研究を行うほか、ゲノム編集等による有用作物の開発と実用化の研究に取り組んでいる。 ●澱粉合成メカニズムの解明を通じた澱粉利用作物の育種学的研究 ●種子貯蔵物質における遺伝的多様性の解析と評価 ●分子育種技術を利用した作物の効率的な形質改変の研究 ●分子育種技術の実用化にかかる周辺技術の開発
野菜花卉園芸学 教授　西島隆明 takaaki〇kpu.ac.jp 講師　伊達修一 s_date〇kpu.ac.jp	高品質な野菜･花卉を安定して生産するために必要な種々の形質について、発現機構を解明し、それに基づく先進的な品種ならびに育種･栽培技術の開発を行っている。 ●栄養繁殖性野菜の交雑育種技術の開発 ●トランスポゾンを利用した花卉の育種技術の開発 ●不定芽を利用した高効率な栄養繁殖技術の開発 ●植物工場技術を利用した新しい野菜の開発 ●地域特産野菜・花卉の開発
果樹園芸学 教授　板井章浩 itai〇kpu.ac.jp 准教授　森本拓也 morimoto〇kpu.ac.jp	果樹・資源植物の遺伝資源の収集と保存・評価し、それらを利用して、高品質新品種開発と生産技術、ポストハーベスト技術開発を行っている。 ●京果樹ブランドの創成 ●分子マーカーを利用した果樹育種の効率化 ●果樹・資源植物の生理現象の解明と栽培技術への応用 ●生殖機構、特に自家不和合性と種間障壁の遺伝・生理学的解析 ●異種間交雑技術を用いたハイブリッド果樹の作出とその利用 ●果樹類の効率的繁殖法の確立
細胞工学 教授　久保中央 nkubo〇kpu.ac.jp 講師　國枝 正 tkunieda〇kpu.ac.jp	高等植物など生物の機能を、遺伝子・細胞・組織レベルで解明し、高品質な農作物作出の技術を開発することを研究目標としている。 ●植物のゲノム構造と遺伝的多様性解明 ●農作物の器官形成や病害抵抗性など、有用形質の遺伝解析 ●植物における物質の細胞内輸送および蓄積制御の分子機構の解明 ●植物の細胞および細胞壁の力学物性制御に関する研究
農業生態学 准教授　大迫敬義 ohsako〇kpu.ac.jp 准教授 アンドレ・フレイリ・クルス andre〇kpu.ac.jp	持続的・安定的な農業生産体系の実現を目標として，微生物学、集団遺伝学などの手法により土壌生態系の評価や作物の遺伝的改良の基盤としての植物の多様性・進化の解明を行っている。 ●土壌微生物群集のメタゲノム解析による調査 ●持続農業に焦点を当てた土壌システムのマネジメント ●作物ならびに近縁野生種の進化遺伝学的解析 ●絶滅危惧種ならびに耕地雑草の生態遺伝学

※〇を@に変えたものがメールアドレスになります。以下同様。

専門種目と教員氏名	教育研究概要（●以下は主要な研究テーマ）
農業経営学 准教授　中村貴子 taka〇kpu.ac.jp	洪水防止や新鮮な大気・水の涵養などによる環境保全機能を評価し、美しい農村景観や農業を体験するグリーンツーリズムや農薬を使わない環境に優しい農業について研究している。また、農地などの地域資源の利用と保全のシステム、京野菜による地域農業振興、コミュニティビジネスなどによる地域活性化について研究している。環境保全型農業や農業経営に関する研究成果は、国や府県の農業政策に活かされている。
応用昆虫学 教授　中尾史郎 nakao〇kpu.ac.jp	昆虫の分類、生理生態・適応進化について追究し、農業害虫の防除法や生産環境の整備方策への反映を通じた昆虫多様性の保全に資する研究を行なっている。 ●農業害虫とその天敵、ならびに絶滅危惧種の生理生態解明と分類 ●昆虫の季節適応および表現型多型と生活史進化との関係解明 ●天敵昆虫の機能利用による農業害虫に対する生物的防除技術の開発 ●昆虫の個体群管理に資する生物地理学・生態遺伝学・行動学的研究
昆虫情報学 教授　大島一正 issei〇kpu.ac.jp	未知の昆虫を探し命名する分類学，進化史を推定する系統学，これらをもとに分類体系を構築する体系学，そして昆虫の知られざる生き様を解明する生態学や行動学に基盤を置きながら，遺伝子やゲノムの情報なども用いることで，昆虫の多様性とその進化機構の解明に取り組んでいる． ●昆虫における種分化のメカニズムとプロセス ●植食性昆虫における寄主適応の遺伝基盤 ●主に鱗翅目昆虫を対象とした体系学 ●植食性昆虫とその天敵の間で見られる種間相互作用
土壌学 教授　矢内純太 yanai〇kpu.ac.jp 教授　中尾 淳 na_4_ka_triplochiton 〇kpu.ac.jp	土壌の機能を化学的に解明し、その応用によって地球環境の保全と持続的農業の可能性を探ることを目的に、土壌の肥沃度評価や土壌粘土の特性評価等について教育研究を行う。 ●土壌の肥沃度評価と土壌養分供給機構の解析 ●熱帯・温帯における土壌有機物蓄積機構の解明 ●鉱物風化のしくみの解明と新しい価値の創出 ●作物を放射能から守る雲母の機能の解明
栄養科学 教授　桑波田雅士 kuwahata〇kpu.ac.jp 准教授　青井 渉 waoi〇kpu.ac.jp 講師　小林ゆき子 yukicoba〇kpu.ac.jp	ヒト栄養管理への応用を目標とした基礎研究、応用研究を行うとともに、患者を対象とした臨床栄養学研究にも取り組んでいる。 ●新規栄養評価マーカーの探索と有効性の評価に関する基礎研究 ●栄養製品の応用開発を目標とした機能性栄養成分に関する研究 ●体力向上を目的とした運動栄養学的研究 ●各種疾患患者を対象とした調査、介入研究
食品科学 教授　長井 薫 k-nagai〇kpu.ac.jp 講師　田代有里 ytashiro〇kpu.ac.jp 助教　佐々木梓沙 sasaki_a〇kpu.ac.jp	食品による疾患予防を目的として、特に、脳の機能の改善や大腸がんの予防を目指した有効物質の探索およびメカニズムの解明に関する研究を行っている。また、食品のテクスチュアと組織構造との関係、食品の加工・貯蔵中における粘弾性変化、食品を構成している生体高分子の性質、を解明する食品物性に関する研究を行っている。 ●食品成分による生体内ストレス抑制を介した健康効果の研究 ●食品成分によるエピジェネティクス制御を介した健康効果の研究 ●食品のレオロジー的性質と組織構造との関係 ●食品を構成する生体高分子の溶液物性 ●食品成分による大腸がん細胞の分化誘導作用

専門種目と教員氏名	教育研究概要（●以下は主要な研究テーマ）
食環境安全性学 教授　原田浩二 k-harada〇kpu.ac.jp 准教授　岡 真優子 mayuko-oka〇kpu.ac.jp	食生活環境における化学物質の安全性評価及び健康障害因子の評価法の開発、その障害発生機序及び予防法に関する研究、病原性微生物がヒトに与える影響を細菌学的および免疫学的に捉えて、感染症の発症と予防に関する研究に取り組んでいる。 ●食品からの農薬などの汚染物質の摂取量の分析と健康リスクの評価 ●食品中の機能性成分の摂取量の測定と健康指標との関連 ●免疫細胞と細菌の相互作用に関する研究 ●細菌感染とがんやアレルギーに関する研究 ●天然植物からの抗菌物質の探索と作用機序に関する研究
食事科学 准教授　吉本優子 yoshimoto〇kpu.ac.jp 講師　村元由佳利 muramoto〇kpu.ac.jp	食べるという食物摂取段階に関わる様々な課題について、自然科学的な視点だけでなく、社会科学的な視点も加えた研究を行っている。 ●食育プログラムの開発と評価 （食の防災教育、食品ロス削減教育、外国人高齢者への食支援など） ●ICT（情報通信技術）と栄養教育 （画像による食品重量の見積もり学習、シミュレーション学習） ●植物性食品の調理科学的特性とおいしさ（えびいも、くずでんぷんなど） ●給食施設における衛生管理
健康科学 准教授　長幡友実 nagahata〇kpu.ac.jp	超高齢化社会にあって、循環器病を中心とした疾病を効果的に予防するための知見の構築を目指して、さまざまな集団を対象とした公衆栄養、栄養疫学の研究を行っている。 ●栄養介入による高血圧予防手法の開発と効果検証 ●効果的な保健指導手法の検討と特定保健指導の効果評価 ●遺伝的要因や社会経済的要因が食事摂取量に及ぼす影響についての研究
遺伝子工学 教授　森田重人 s_morita〇kpu.ac.jp 講師　佐藤壮一郎 s-satoh〇kpu.ac.jp	植物（農作物）の高品質化や生産性の向上、有用物質の生産を目的として、これら過程の分子機構の解明、および有用遺伝子組換え作物の開発に関する研究を行っている。また、植物ゲノムの構造・機能・進化原理の解明、および遺伝子やゲノムの操作技術の開発を行っている。 ●植物の発芽調節、伸長調節の分子機構の解析 ●有用遺伝子組換え作物の作出、解析 ●DNA 修復やエピゲノムの変動による植物トランスプクリプトームの進化メカニズムの解析 ●ゲノム・メタゲノムベースの分子系統解析方法の開発と応用
植物病理学 教授　津下誠治 s_tsuge〇kpu.ac.jp 講師　辻 元人 gnosjiutte〇kpu.ac.jp	植物病原微生物の生理生態や感染機構、植物の抵抗性機構、防除資材の作用機序等の解析を通じて、病原微生物の病原性の制御や植物への抵抗性の付与、新規植物病害防除技術の開発など、植物保護に向けた教育研究を行っている。 ●植物病原微生物の病原性遺伝子の機能解析とその発現制御機構の解明 ●植物病原微生物の生態特性の解析 ●植物の病害抵抗性の遺伝的解析 ●有用微生物や資材による発病抑制の作用機序の解析
植物分子生物学 教授　佐藤雅彦 mhsato〇kpu.ac.jp 准教授　平野朋子 thirano〇kpu.ac.jp 講師　山下博史 yamasita〇kpu.ac.jp 講師　爲重 才覚 t-tamesige〇kpu.ac.jp	地球生態系の土台を構成する植物の機能発現、および環境との相互作用について遺伝子や細胞レベルでの研究を行っている。 ●植物細胞の細胞内タンパク質輸送メカニズムの解明 ●植物形態形成におけるリン脂質シグナリング因子の解析 ●環境応答に関与する転写因子の解析 ●昆虫と植物の相互作用による植物形態制御機構の解明 ●葉の形態と組織の空間パターンを形成する機構の解明

専門種目と教員氏名	教育研究概要（●以下は主要な研究テーマ）
植物ゲノム情報学 教授　福島敦史 afukushima〇kpu.ac.jp	植物ゲノム、エピゲノム、トランスクリプトームなど大規模かつ多様なデータの統合的なバイオインフォマティクス解析手法の研究開発、AI時代の持続的なデータ共有および関連するデータベースの研究開発を行う。 ●植物特化代謝パスウェイマップ整備とエンリッチメント解析手法の開発 ●植物ストレス応答遺伝子群の同定とデータベース開発 （https://www.kpu-g.com 参照）
植物成分化学 教授　川田俊成※ kawada〇kpu.ac.jp	植物成分を両端点とする化学合成,植物成分分析などを基盤とする情報伝達物質の構造活性相関,糖鎖の機能発現機構などに関する有機化学寄りの分子生物学的研究など。例えば、植物防御反応のエリシター活性が期待できるオリゴ糖類の構造活性相関研究、薬理活性を有する植物抽出成分の化学合成・構造決定・機能賦与研究、など。
分子栄養学 教授　亀井康富 kamei〇kpu.ac.jp 准教授　佐伯 徹 tsaeki〇kpu.ac.jp 講師　大藪 葵 oyabu-m〇kpu.ac.jp	栄養摂取に伴う生体機能調節の分子機構や、食品・栄養・健康の諸問題について研究を行っている。 ●遺伝子改変マウスを用いた肥満･生活習慣病の分子機序解析 ●核内ホルモン受容体関連分子による遺伝子発現調節機構 ●食品機能成分と骨格筋調節機構に関する研究 ●筋萎縮の分子機構に関する研究 ●DNA メチル化によるエピジェネティクス制御の解析 ●疎水性胆汁酸による発がんプロモーター作用とアポトーシス誘導機構 ●生体内代謝物、薬品、あるいは環境ホルモン等の生体内動態の分子機構 （http://nutrition.life.kpu.ac.jp/参照）
動物機能学 教授　岩﨑有作 ysk-iwasaki〇kpu.ac.jp 講師　高井信吾 s-takai〇kpu.ac.jp	生体末梢情報（ホルモン、栄養成分、代謝物など）の一部は求心性迷走神経を介して脳機能を調節していると考えられるが、不明な点も多い。＜求心性迷走神経→脳＞軸を介した脳機能（食欲・代謝・精神）の調節機構と医学・栄養学的応用を研究する。 ●過食・節食リズム異常による肥満の改善研究 ●インスリン抵抗性・糖尿病の改善研究 ●代謝低下・冷え性の改善研究 ●ストレス・抑うつの改善研究 ●食欲不振（高齢者を含む）の改善研究
動物衛生学 准教授　足立和英 kaz5472〇kpu.ac.jp （学長　塚本康浩 ytsuka〇kpu.ac.jp）	家畜および実験動物を対象として、疾病の病理発生の解明やその診断法及び防御法の開発を目的とする実践的な動物バイオを展開する。また、新規有用抗体の量産化と実用化に関する研究を行っている。 ●ダチョウを用いた新規有用抗体の低コスト量産化技術の開発 ●ダチョウ抗体を用いた診断薬・治療薬の開発 ●鳥インフルエンザ蔓延防止法の開発と海外でのフィールドワークを介した実用化 ●感染症や癌における細胞接着分子の機能解明と診断･治療への実用化
微生物機能化学 講師　辻本善之 yoshi_t〇kpu.ac.jp	自然界に生息する有用な機能を持つ微生物や発酵に関与する微生物に注目し、それらの機能解析を中心に研究を行っている。 ●有用な酵素タンパク質を生産する微生物の単離と同定 ●脂質関連酵素の機能解析とその応用 ●機能性脂質の生理機能解析

※　2027 年（令和 9 年）3 月退職予定

専門種目と教員氏名	教育研究概要（●以下は主要な研究テーマ）
物質創成化学 教授　椿 一典 tsubaki〇kpu.ac.jp 教授　沼田宗典 numata〇kpu.ac.jp 准教授　斧田宏明 h-onoda〇kpu.ac.jp 講師　今吉亜由美 imayoshi〇kpu.ac.jp	機能分子の設計・合成を通して生命化学を追及している。 ●生体ポリアミンの高感度センサーの開発 ●大環状化合物をテンプレートとした機能性分子の開発 ●光学活性オリゴアリール類の精密合成とその機能化 ●生理活性物質の作用機構を解明するための機能分子の創製 ●タンパク質の機能解析に応用する選択的阻害剤の開発 ●高選択的新規触媒反応の開発 ●機能性分子および高分子の合成とそれらの自己組織化による自律的機能をもつ次世代物質群の創製 ●刺激応答性を持つ分子ナノマシンの開発 ●光触媒活性をもたない化粧品用白色無機顔料の作製 ●有害重金属を含まない代替無機材料の開発
機能創成化学 教授　高野和文 takano〇kpu.ac.jp 准教授　安部 聡 sabe〇kpu.ac.jp 准教授　田中俊一 stanaka1〇kpu.ac.jp 講師　佐野 智 satsano〇kpu.ac.jp	機能分子の理解・創成を通して生命化学を追及している。 ●タンパク質構造形成機構の解明と応用 ●タンパク質の分子進化機構の解明と応用 ●結晶成長機構の解析と応用 ●タンパク質結晶工学による機能材料開発 ●タンパク質の自己組織化による超分子タンパク質の機能創製 ●人工結合タンパク質の設計開発とケミカルバイオロジーへの応用 ●産業有用酵素の構造機能相関解析と高機能化 ●新規オリゴ糖プレバイオティクスの創成 ●植物の環境ストレス耐性に関与する酵素の機能解析 ●植物の青色銅タンパク質の機能解析
システム創成化学 教授　杉本健士 ksugimoto〇kpu.ac.jp 教授　堀内宏明 hhoriuchi〇kpu.ac.jp 教授　織田昌幸 oda〇kpu.ac.jp 教授　久保拓也 tkubo〇kpu.ac.jp 准教授　リントゥルオト正美 masami〇kpu.ac.jp	物理化学や分析化学手法を用いてシステム的に生命化学を追及している。 ●微量で生物活性を示す天然･非天然有機小分子の精密構築法の創成と医薬化学的応用・生体内挙動の解析 ●薬品分子の母格となる含窒素複素環化合物の精密構築法の創成と医薬化学的応用・生体内挙動の解析 ●光を利用したがん治療･診断に用いる光感受性薬剤の光機能向上および光機能制御を目指した研究 ●抗体の抗原認識と構造変化の解析 ●T 細胞活性化に働くシグナル伝達分子の相互作用解析 ●転写因子 DNA 結合ドメインの構造機能解析 ●グルカナーゼやクチナーゼなど酵素の構造機能解析 ●人工タンパク質の設計と構造機能解析 ●分子・情報技術の創発による微弱分子間相互作用の解明 ●液相分離の高度化に向けた有機無機複合材料の開発 ●人工分子認識材料による生体・環境分析の効率化 ●高選択・高速分離に基づく多様な創薬モダリティの精製 ●計算化学を用いたタンパク質の機能と構造の関連性や酵素反応メカニズムの解明

[環境科学専攻]

環境科学専攻の教育・研究の基本理念は、人々の生活が、地球規模に至る自然環境の中で成り立っているという認識に基づき、身近な生活環境から自然の生態系まで、空間スケールは異なるが有機的につながった系である環境の保全によって持続的な社会の構築に寄与することにあります。本専攻は、森林、山地防災、木材資源、ランドスケープ、都市計画、建築、住居、室内環境、情報科学、数理科学、物理学などを専門とする教員からなり、人間を取り巻く多様な環境要素および、人間と環境の様々な相互関係を探求できるユニークな構成となっています。教育目標は、基本理念に立脚して、森林科学、生活環境科学、数物・情報環境学の高度な専門知識を備え、広い視野と応用力を身につけた人材を養成することです。

研究室の教員と研究内容

専門種目と教員氏名	教育研究概要（●以下は主要な研究テーマ）
森林生態学 教授　市榮智明 tichie〇kpu.ac.jp 教授　宮藤久士 miyafuji〇kpu.ac.jp 准教授　上田正文 uedam〇kpu.ac.jp 准教授　平山貴美子 hirara〇kpu.ac.jp 講師　佐々木尚子 sasaki_n〇kpu.ac.jp 助教　糟谷信彦 n_kasuya〇kpu.ac.jp	森林生態系を構成する多様な生物と環境との密接な繋がり、物質・エネルギー循環のシステムを科学的に理解し、持続可能な社会の構築に向けた健全な森林生態系の維持、森林資源の循環的利用に関する教育・研究を行う。 ●森林植物の生態、繁殖メカニズム、環境ストレス応答、生物間相互作用に関する研究（市榮） ●森林および竹林バイオマスからのエネルギー生産および有用化学物質の創製（宮藤） ●森林バイオマスからの高機能材料（宮藤） ●樹木の生態・健康度および水分生理に関する研究（上田） ●森林の衰退原因の解明とその回復についての研究（上田） ●都市近郊林の生物多様性保全に向けた生物間相互作用ネットワークの解明（平山） ●暖温帯林構成種の種子生産変動と更新動態の解明（平山） ●東アジアにおける気候変動および人間活動と植生変遷の関係（佐々木） ●植生と景観形成に及ぼした野火の影響（佐々木） ●地域単位での森林および竹林バイオマスの生産量･蓄積量の把握（糟谷） ●国産早生樹の成長量評価と用途開発（宮藤、糟谷）
流域保全学 教授　長島啓子 nagakei〇kpu.ac.jp 教授　美濃羽靖 sharmy〇kpu.ac.jp 教授　勝山正則 katsu〇kpu.ac.jp 准教授　高濱淳一郎 jtaka〇kpu.ac.jp 准教授　三好岩生 i_miyosi〇kpu.ac.jp 准教授　中田康隆 nakata-yasutaka〇kpu.ac.jp	山地の基本単位である流域について、地形、水系、森林資源、生物多様性といった様々な流域情報の収集・解析、土砂災害や病虫獣害被害などの森林災害の予測・軽減、さらに京都の自然および都市の歴史的景観保全や管理など、循環型社会の構築に資する教育・研究を行う。 ●GIS・リモートセンシング技術を応用した地域森林資源の評価と生物多様性の保全（長島、中田） ●獣害・土砂災害・病害虫等の森林攪乱後の自然再生（長島、中田） ●流域内における降雨流出応答と水質との関係（美濃羽） ●IT 技術を応用した流域情報に関する情報発信・携帯端末を用いたアプリケーションの開発、森林内の音場環境の解析（美濃羽） ●トレーサーを用いた森林流域の水循環機構の解明（勝山） ●長期モニタリングによる森林生態系の変化に対する流出水質の応答解明（勝山） ●山地流域からの水・土砂流出特性（高濱、三好） ●土石流・崩壊等の土砂災害の発生機構（高濱、三好） ●荒廃山地の緑化と森林保全（三好） ●地域資源を活かした地域防災システム（三好）

※〇を@に変えたものがメールアドレスになります。以下同様。

専門種目と教員氏名	教育研究概要（●以下は主要な研究テーマ）
森林資源学 教授　古田裕三 furuta〇kpu.ac.jp 准教授　神代圭輔 kojiro〇kpu.ac.jp 准教授　細谷隆史 hosoya_t〇kpu.ac.jp 准教授　渕上佑樹 fuchigami〇kpu.ac.jp	地域から地球規模にまでつながった循環型社会の構築に向けて、再生産可能資源である木質バイオマス資源に関する物性学、化学を基礎・基盤として、バイオマス変換利用およびバイオマテリアルの利活用・創成に関する先端的な教育・研究を行う。 ●新規木質材料開発のための基礎的研究（古田、神代） ●木材の物性発現機構の解明（古田、神代） ●地域材の有効利用に関する研究（古田、神代） ●木質系材料の標準化（古田、神代） ●木材およびその構成成分の化学分解法とその分子機構に関する研究（細谷） ●木材利用の公益的価値の定量化に関する研究（渕上）
住環境文化学 教授　山川 肇 yamakawa〇kpu.ac.jp 准教授　松田法子 matsuda〇kpu.ac.jp 准教授　関口達也 ta-sekiguchi〇kpu.ac.jp 准教授　辻槙一郎 tsujis〇kpu.ac.jp 講師　稲田浩也 kinada〇kpu.ac.jp	住環境の歴史・文化と住環境を取り巻く生活の諸課題に関する教育・研究を行う。 ●環境配慮型生活行動の評価と促進に関する研究等、持続可能な循環型社会の形成に貢献するライフスタイルと政策に関する研究を行う。 ●都市・地域・建築に関する生活文化論的・史学的・美学的研究を行う。 ●都市計画、都市現象、都市政策に関する研究を行う。 ●住居建築史に関する研究を行う。 ●住宅・居住資源の再編と活用に関する研究を行う。
住環境計画学 教授　河合慎介 s_kawai〇kpu.ac.jp 教授　鈴木健二 suzuki〇kpu.ac.jp 教授　奥矢 恵 okuya〇kpu.ac.jp 准教授　森田一弥 morita〇kpu.ac.jp 講師　井上祥子 sinoue〇kpu.ac.jp	都市・建築・インテリア・生活用品の計画・設計に関する教育・研究を行う。 ●都市・インテリアを含む総合的な生活空間を視野に入れ、住み手・使い手の立場に立った建築計画および建築のデザインのあり方を深める研究を行う。 ●高齢者を中心とした居住施設・福祉施設の計画に関する研究を行う。 ●建築・インテリア空間の意匠に表れる地域性や時間性に関する研究、小屋・付属屋に関する建築史・意匠研究を行う。 ●空間のデザイン手法に関する研究を行う。 ●建築構造解析、木材の材料特性に関する研究を行う。
住環境機構学 教授　長野和雄 nagano〇kpu.ac.jp 教授　田淵敦士 a-tabuchi〇kpu.ac.jp 教授　福井 亘 wfukui〇kpu.ac.jp 教授　石川敦雄 ishikawa〇kpu.ac.jp 准教授　荒木裕子 arakiy〇kpu.ac.jp	住環境の安全性・快適性・持続可能性の機構に関する教育・研究を行う。 ●夏涼しく冬暖かい暮らしと住まいの研究を行う。 ●木質材料の特性を活用し建築や住宅の耐震性能を向上させるための研究を行う。 ●都市や近郊を対象に緑地計画と景観生態に関する研究やデザイン提案を行う。 ●居住者と建築・都市環境との相互作用を対象として、環境心理学を基により良い視環境のあり方を深める研究を行う。 ●住環境防災学に関する研究を行う。

専門種目と教員氏名	教育研究概要（●以下は主要な研究テーマ）
環境応用情報学 教授　浅田太郎 t_asada〇kpu.ac.jp 准教授　辻 愛里 atsuji〇kpu.ac.jp	メディア情報処理、人工知能、数理計画、データサイエンスなどの基礎研究を行い、ネットパトロールシステム、ロボット、認知症・高齢者の支援のための情報システム、情報セキュリティ、表情、音声、動作の情報解析、福祉情報システム、意思決定支援システム、ヒューマンインタフェース、などへの応用研究を行う。
環境応用数理学 教授　岩﨑雅史 imasa〇kpu.ac.jp 講師　西田優樹 y-nishida〇kpu.ac.jp	可積分系理論を中心とした数学的な基礎研究によって、身近に潜む数理構造の解明を進めながら、様々な新しいアルゴリズムの定式化やアルゴリズムの実用化研究(データサイエンス研究)もあわせて行っている。また、離散数学を基礎にした数理モデルや数理最適化による問題解決、および関連する代数構造について研究を行っている。
環境計測学 教授　安田啓介 yasuda〇kpu.ac.jp 准教授　関原隆泰 sekihara〇kpu.ac.jp	加速器や X 線などの量子ビームを用いた分析に関する先端計測技術の開発、およびこれらの分析技術を用いた環境中やエネルギー材料の微量元素の分布や動態の解明に関する研究を行っている。また、原子核を舞台に展開される素粒子「クォーク」のダイナミクスを、特に核力とその一般化という観点から、量子力学の数値計算を通じて研究している。 ●イオンビームを用いた薄膜中の軽元素分析技術の開発 ●イオンビーム分析技術を駆使したリチウムイオン二次電池等のエネルギー材料における軽元素の動態に関する研究 ●原子核におけるクォークのダイナミクスの発現に関する理論研究 ●核力に関する各種実験データに対応する数値計算

授　業　科　目

［応用生命科学専攻］博士前期課程

植物遺伝育種学特論	2 単位
分子育種学特論	2
野菜花卉園芸学特論	2
野菜花卉品質論	2
果樹園芸学特論	2
植物分子細胞遺伝学特論	2
植物病害管理学特論	2
農業生態学特論	2
植物生態遺伝学特論	2
農業経営学特論	2
農業経済学特論	2
応用昆虫学特論	2
昆虫系統分類学	2
環境共生システム学特論	2
土壌機能科学特論	2
土壌分析科学特論	2
臨床栄養学特論	2
栄養科学特論	2
食品機能学特論	2
食品科学特論	2
食環境安全性学特論	2
生体防御機能学特論	2
食事科学特論	2
調理科学特論	2
栄養疫学特論	2
健康科学特論	2
学校栄養教育特論	2
食教育実践演習	2
食環境科学特別講義	2
遺伝子工学特論	2
分子遺伝学特論	2
植物病理学特論	2
植物分子生理学特論	2
植物細胞生物学特論	2
植物形態進化学特論	2
植物ゲノム情報学特論	2
植物成分化学特論	2
分子栄養情報学特論	2
分子栄養学特論	2
動物機能学特論 I	2
動物機能学特論 II	2
動物衛生学特論 I	2
動物衛生学特論 II	2
微生物機能化学特論	2
無機材料化学特論	2
機能分子合成化学特論	2
超分子合成化学特論	2
生体分子建築化学特論	2
生命構造化学特論	2

細胞情報化学特論	2 単位
反応生化学特論	2
医薬分子構築化学特論	2
光機能物質化学特論	2
生命物理化学特論	2
機能分子解析化学特論	2
計算化学特論	2
食農生態論	2
食農技術論	2
生命反応化学特論	2
植物バイオテクノロジー特論	2
バイオビジネス論	2
英語コミュニケーション演習 I	2
英語コミュニケーション演習 II	2
英語コミュニケーション演習 III	2
環境論	2
植物育種学演習	4
植物育種学実験	12
野菜花卉園芸学演習	4
野菜花卉園芸学実験	12
果樹園芸学演習	4
果樹園芸学実験	12
細胞工学演習	4
細胞工学実験	12
農業生態学演習	4
農業生態学実験	12
農業経営学演習	4
農業経営学実験	12
応用昆虫学演習	4
応用昆虫学実験	12
昆虫情報学演習	4
昆虫情報学実験	12
土壌学演習	4
土壌学実験	12
栄養科学演習	4
栄養科学実験	12
食品科学演習	4
食品科学実験	12
食環境安全性学演習	4
食環境安全性学実験	12
食事科学演習	4
食事科学実験	12
健康科学演習	4
健康科学実験	12
遺伝子工学演習	4
遺伝子工学実験	12
植物病理学演習	4
植物病理学実験	12
植物分子生物学演習	4
植物分子生物学実験	12

植物ゲノム情報学演習	4単位
植物ゲノム情報学実験	12
植物成分化学演習	4
植物成分化学実験	12
分子栄養学演習	4
分子栄養学実験	12
動物機能学演習	4
動物機能学実験	12
動物衛生学演習	4
動物衛生学実験	12
微生物機能化学演習	4
微生物機能化学実験	12
無機材料化学演習	4
無機材料化学実験	12
機能分子合成化学演習	4
機能分子合成化学実験	12
超分子合成化学演習	4
超分子合成化学実験	12

生体分子建築化学演習	4単位
生体分子建築化学実験	12
生命構造化学演習	4
生命構造化学実験	12
高次細胞機能化学演習	4
高次細胞機能化学実験	12
医薬分子構築化学演習	4
医薬分子構築化学実験	12
光機能物質化学演習	4
光機能物質化学実験	12
生命物理化学演習	4
生命物理化学実験	12
機能分子解析化学演習	4
機能分子解析化学実験	12
計算化学演習	4
計算化学実験	12

［応用生命科学専攻］博士後期課程

植物育種学特別研究	4単位
植物育種学特別演習	4
野菜花卉園芸学特別研究	4
野菜花卉園芸学特別演習	4
果樹園芸学特別研究	4
果樹園芸学特別演習	4
細胞工学特別研究	4
細胞工学特別演習	4
農業生態学特別研究	4
農業生態学特別演習	4
農業経営学特別研究	4
農業経営学特別演習	4
応用昆虫学特別研究	4
応用昆虫学特別演習	4
昆虫情報学特別研究	4
昆虫情報学特別演習	4
土壌学特別研究	4
土壌学特別演習	4
栄養科学特別研究	4
栄養科学特別演習	4
食品科学特別研究	4
食品科学特別演習	4
食環境安全性学特別研究	4
食環境安全性学特別演習	4
食事科学特別研究	4
食事科学特別演習	4
健康科学特別研究	4
健康科学特別演習	4
遺伝子工学特別研究	4
遺伝子工学特別演習	4
植物病理学特別研究	4
植物病理学特別演習	4
植物分子生物学特別研究	4
植物分子生物学特別演習	4

植物ゲノム情報学特別研究	4単位
植物ゲノム情報学特別演習	4
植物成分化学特別研究	4
植物成分化学特別演習	4
分子栄養学特別研究	4
分子栄養学特別演習	4
動物機能学特別研究	4
動物機能学特別演習	4
動物衛生学特別研究	4
動物衛生学特別演習	4
微生物機能化学特別研究	4
微生物機能化学特別演習	4
無機材料化学特別研究	4
無機材料化学特別演習	4
機能分子合成化学特別研究	4
機能分子合成化学特別演習	4
超分子合成化学特別研究	4
超分子合成化学特別演習	4
生体分子建築化学特別研究	4
生体分子建築化学特別演習	4
生命構造化学特別研究	4
生命構造化学特別演習	4
高次細胞機能化学特別研究	4
高次細胞機能化学特別演習	4
医薬分子構築化学特別研究	4
医薬分子構築化学特別演習	4
光機能物質化学特別研究	4
光機能物質化学特別演習	4
生命物理化学特別研究	4
生命物理化学特別演習	4
機能分子解析化学特別研究	4
機能分子解析化学特別演習	4
計算化学特別研究	4
計算化学特別演習	4

［環境科学専攻］博士前期課程

空間計画学特論	2 単位
環境設計学特論	2
環境共生学特論	2
環境情報・数物学特論	2
環境論	2
環境実験法特論	2
環境調査法特論	2
科学英語演習	2
森林生態学特論	2
森林生態学演習	4
森林生態学実験	10
森林生理生態学特論	2
森林生理生態学演習	4
森林生理生態学実験	10
森林植生学特論	2
植生環境学特論	2
森林植生学演習	4
森林植生学実験	10
森林資源循環学特論	2
森林資源循環学演習	4
森林資源循環学実験	10
森林計画学特論	2
森林計測学特論	2
森林計画学演習	4
森林計画学実験	10
山地防災学特論	2
山地防災学演習	4
山地防災学実験	10
砂防学特論	2
土砂移動現象論特論	2
砂防学演習	4
砂防学実験	10
流域情報学特論	2
流域情報学演習	4
流域情報学実験	10
生物材料物性学特論	2
木質工学特論	2
生物材料物性学演習	4
生物材料物性学実験	10
生物材料利用化学特論	2
生物材料利用化学演習	4
生物材料利用化学実験	10
木材利用システム学特論	2
木材利用システム学演習	4
木材利用システム学実験	10

循環型社会論特論	1 単位
生活文化論特論	1
都市計画学特論	1
住居建築史学特論	1
住生活学特論	1
住環境文化学演習	4
住環境文化学実験	10
建築計画学特論	1
居住福祉計画学特論	1
建築・インテリア意匠学特論	1
建築・インテリア設計学特論	1
構造デザイン学特論	1
住環境計画学演習	4
住環境計画学実験	10
建築都市環境学特論	1
木質構造学特論	1
地域景観保全特論	1
視環境計画学特論	1
住環境防災学特論	1
住環境機構学演習	4
住環境機構学実験	10
環境数理計画特論	2
人間環境画像解析特論	2
応用人工知能特論	2
生活福祉情報学特論	2
環境応用情報学演習	4
環境応用情報学実験	10
応用数理解析特論	2
環境数値解析特論	2
環境応用数理学演習	4
環境応用数理学実験	10
環境計測学特論	2
放射線計測学特論	2
応用原子物理学特論	2
環境計測学演習	4
環境計測学実験	10

［環境科学専攻］博士後期課程

森林生態学特別研究	4 単位
森林生態学特別演習	4
森林生理生態学特別研究	4
森林生理生態学特別演習	4
森林植生学特別研究	4
森林植生学特別演習	4
森林計画学特別研究	4
森林計画学特別演習	4
山地防災学特別研究	4
山地防災学特別演習	4
流域情報学特別研究	4
流域情報学特別演習	4
森林資源循環学特別研究	4
森林資源循環学特別演習	4
生物材料物性学特別研究	4
生物材料物性学特別演習	4
生物材料利用化学特別研究	4
生物材料利用化学特別演習	4
木材利用システム学特別研究	4
木材利用システム学特別演習	4

住環境文化学特別研究	4 単位
住環境文化学特別演習	4
住環境計画学特別研究	4
住環境計画学特別演習	4
住環境機構学特別研究	4
住環境機構学特別演習	4
環境応用情報学特別研究	4
環境応用情報学特別演習	4
環境応用数理学特別研究	4
環境応用数理学特別演習	4
環境計測学特別研究	4
環境計測学特別演習	4

食の文化学位プログラム

１　募　集　人　員

博士前期課程	博士後期課程
３名	１名

２　日　　程

	博士前期課程	博士後期課程
インターネット 出願登録期間	令和９年１月５日（火）～１月１３日（水）正午（12時）まで	
出願書類の 受付期間	令和９年１月５日(火)～１月１３日(水)午後５時必着	
試験実施日	令和９年２月６日（土）	令和９年２月９日（火）
合格発表日	令和９年２月１５日（月）正午	令和９年２月１８日(木)正午
入学手続日	令和９年３月２７日(土)	

(注)１　博士前期課程の出願資格(７)、博士後期課程の出願資格(５)に該当する志願者は、出願の前に本学大学院において入学資格審査を行います。申請期間など資格審査の詳細については、P.56をご覧ください。

２　入学を志願する人で、身体等に障害(学校教育法施行令第２２条の３に定める程度、その他これに準じるもの)があり、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、出願書類を提出する前にあらかじめ相談が必要です。詳細は、P.57をご覧ください。

３　学費等納付金（入学料・授業料等）　　※金額は改定される場合があります。

種　　類		金　　額	備　　考
入学料	甲	１６９，２００円	入学手続の日までに、所定の振込用紙で振り込んでください。
	乙	２８２，０００円	
授業料	前　期	２６７，９００円	入学後、口座引き落としにより、前期(５月。次年度以降は４月)と後期(１０月)の２回の分納となります。
	後　期	２６７，９００円	
	計	５３５，８００円	
学生教育研究災害傷害保険料 博士前期課程		２，４３０円	入学手続の日までに、所定の振込用紙で振り込んでください。
〃　　博士後期課程		３，６２０円	

(注)１　入学料の甲：入学前１か年以上(令和８年４月１日以前から)引き続き京都府内に生活の本拠を置き、現に居住しており、住民票で証明可能な者

入学料の乙：その他の者

２　在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料を適用します。

３　経済的要件等による授業料減免制度がありますが、社会人特別選抜による大学院入学者は、授業料減免の対象となりません。なお、社会人特別選抜による入学者に対しては、「長期履修制度」があり、長期履修が認められた場合の授業料の年額は、許可された履修期間での分納となるため、年額が低くなります（P.73「社会人長期履修制度について」参照)。

４　本学の大学院博士前期課程を令和９年３月に修了し、同年４月に博士後期課程に進学する者は、入学料は不要です。

４　出　願　資　格

以下のいずれの選抜でも、出願を希望する場合は、あらかじめ学位プログラム実施基本組織に届け出て、希望する担当教員の事前面接を受け、出願の了解を得ることが必要です。

（連絡先：学務課入試係 nyushi@kpu.ac.jp）

博士前期課程

〈一般選抜〉

次のいずれかに該当する者とします。

(1) 大学を卒業した者又は令和９年３月３１日までに卒業見込みの者

(2) 学校教育法第１０４条第７項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は令和９年３月３１日までに授与される見込みの者

(3) 外国において学校教育における１６年の課程を修了した者又は令和９年３月３１日までに修了見込みの者

(4) 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者

(5) 文部科学大臣の指定した者

(6) 外国において学校教育における１５年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院において認めた者

(7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、２２歳に達した者又は令和９年３月３１日までに２２歳に達する者

〈社会人特別選抜〉

上記(1)～(7)のいずれかに該当し、かつ、本大学院食の文化学位プログラム入学時までに３年以上の職歴（家事従事者等を含む）を有する者とします。

博士後期課程

〈一般選抜〉

次のいずれかに該当する者とします。

(1) 修士の学位を授与された者又は大学院修士課程を令和９年３月３１日までに修了見込みの者

(2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者

(3) 文部科学大臣の指定した者

(4) 外国において学校教育における１７年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績をもって修得したものと本学大学院において認めた者

(5) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、２４歳に達した者又は令和９年３月３１日までに２４歳に達する者

〈社会人特別選抜〉

上記(1)～(5)のいずれかに該当し、かつ、食関連の就業経験または社会的活動の経験が５年以上ある者とします。

（注）外国人留学生で入学を志望する者は、あらかじめ当該学位プログラム実施基本組織の了承を得ることが必要です。詳細は、本学ホームページに掲載する「2027年度外国人留学生入学案内（大学院)」を参照してください。

５　出願資格における個別の入学資格審査について

博士前期課程の出願資格(7)及び博士後期課程の出願資格(5)に該当する志願者は、出願の前に本学大学院において入学資格認定のための個別の入学資格審査を行います。

なお、審査の申請手続は次のとおりですが、申請には本学所定の用紙等が必要です。所定の用紙を本学ホームページに掲載していますのでダウンロードして使用してください。なお、郵送も可能ですので学務課入試係（nyushi@kpu.ac.jp）にお問い合わせください。

(1) 申請書類

資格審査申請書、履歴書、研究計画書、活動自己申告書（博士後期課程の場合)、最終学歴の学校長が発行する卒業・修了証明書及び成績証明書

(2) 申請方法

審査を受けようとする者は、申請書類を取りそろえて、下記により提出してください。

ア　申請期間

令和８年１０月１９日（月）～令和８年１０月２６日（月）(受付は午前９時から午後５時まで。ただし、土曜日、日曜日、祝日は除きます。)

イ　申請書類の提出先

京都府立大学事務局学務課入試係

(3) 審査方法等

審査は、提出書類による書類審査とします。なお、審査結果は出願開始期日までに申請者あて書面で通知します。

６　身体等に障害のある入学志願者との事前相談

(1) 事前相談等

入学を志願する人で、身体等に障害(学校教育法施行令第２２条の３に定める程度、その他これに準じるもの)があり、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、あらかじめ本学へ連絡し相談してください。

(2) 相談の時期

令和８年１０月１９日（月）～令和８年１０月２６日（月）

７　出願手続

インターネット出願サイトへの情報登録及び入学考査料の支払いをしたうえで、出願書類を提出してください。

(1) 出願期間

インターネット出願登録期間	令和９年１月５日（火）～１月１３日（水）正午（12時）まで
出願書類の受付期間	令和９年１月５日(火)～１月１３日(水)午後５時まで ただし期限後到着した場合は、１月１２日（火）以前の消印がある書留速達郵便に限り受け付けます。

(2) 入学考査料

入学考査料等は以下のとおりです。

・入 学 考 査 料：　３０，０００円
・支払手数料：　９９０円
・受験票郵送料：　４６０円　　計３１，４５０円

※博士後期課程を受験する者のうち、令和９年３月本学大学院食の学位プログラム博士前期課程修了見込みの者は不要です。

※入学考査料等の支払い確認後、出願サイトから出願に必要な書類を印刷できるようになります。出願書類の受付期間内に出願書類が大学に到着するよう考慮の上、入学考査料等をお支払いください。

クレジットカード以外でお支払いの場合は、支払確認に２～３時間程度かかる可能性があります。支払確認がとれないと出願書類の印刷ができませんので、時間に余裕をもって出願登録をしてください。

(3) 出願書類

提　出　書　類	注　意　事　項　等
ア　出願確認票等	インターネット出願サイトから印刷した「出願確認票（大学提出用）」※、「受験票」 ※出願確認票のみ両面印刷
イ　卒業（見込）証明書［博士後期課程は、修了（見込）証明書］※	「２ 出願資格」を証明するもの
ウ　成績証明書※	出身大学長又は学部長が作成したもの
エ　志望理由書	志望理由書（A4用紙使用　2,000字程度）を提出してください。本学学位プログラムを志望する理由を記述してください。
オ　研究計画書	研究計画書（A4用紙使用　6,000字程度）を提出してください。研究を進めるにあたっての問題関心や課題を明確に提示し、研究方法・研究内容などを記述してください。
カ　論文	（博士後期課程（一般選抜）のみ） 修士論文（写し）（日本語または英語）またはそれに代わるもの（修士の学位を取得する際に審査対象となった提出物）を３部提出してください。
キ　研究・活動概要	（博士後期課程（社会人特別選抜）のみ） これまでの食文化に関わる研究や実践活動（就業経験を含む）の概要を記した「研究・活動概要」（A4用紙使用、10,000字程度）を３部提出してください。

※イ及びウについては一般選抜と社会人特別選抜で異なります。後掲「出願必要書類一覧」で確認してください。

(4) 提出方法

角型２号封筒（33.2×24.0㎝）にインターネット出願サイトから印刷した「宛名ラベル」を貼り付

け、(3)で定める出願書類を封入し、受付期間内に到着するよう提出してください。

(5) 提出先

〒606-8522　京都市左京区下鴨半木町１－５　　京都府立大学学務課入試係

電話　075-703-5144（直通）

(6) 注意事項

・出願書類受付後は、出願内容の変更は認めません。また、提出書類及び入学考査料等はお返ししません。ただし、入学考査料を誤って二重に払い込んだ場合及び入学考査料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合（出願が不備等により受理されなかった場合を含む）は、30,000円及び受験票郵送料をお返ししますので、学務課入試係（nyushi@kpu.ac.jp）にお問い合わせください。

８　入学者選考方法

博士前期課程

〈一般選抜〉

(1) 選考は、志望理由書、学力試験（筆記試験）、面接・口述試験、出身大学の成績証明書を総合して行います。

(2) 学力試験（筆記試験）は食の文化に関する専門試験とします。

〈社会人特別選抜〉

選考は、志望理由書、面接・口述試験を総合して行います。

博士後期課程

〈一般選抜〉

選考は、研究計画書、論文の評価、面接・口述試験を総合して行います。

〈社会人特別選抜〉

選考は、研究計画書、研究・活動概要の評価、面接・口述試験を総合して行います。

９　学力試験等の日時及び試験会場

(1) 日　　時

博士前期課程

月　　日	区　　分	科　　目	時　　間
令和９年２月６日（土）	一般選抜	専門試験	１０時～１１時３０分
		面接・口述試験	１３時～
	社会人特別選抜	面接・口述試験	１３時～

博士後期課程

月　　日	区　　分	科　　目	時　　間
令和９年２月９日（火）	一般選抜	面接・口述試験	１３時～
	社会人特別選抜	面接・口述試験	１３時～

(2) 試験会場　京都府立大学

(3) 学力試験等受験についての注意事項

ア　試験当日は、指示された時間の３０分前までに試験場に集合してください。

イ　試験時間中に机上に置けるものは、「受験票」「黒の鉛筆又はシャープペンシル（筆記機能のみ）」「鉛筆削り（電動式を除く）」「消しゴム」「鉛筆キャップ」「時計（辞書、電卓、端末等の機能のあるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・大型のものは不可）」「眼鏡」「ハンカチ」「ティッシュペーパー（袋又は箱から取り出したもの）」「目薬」です。健康上その他やむを得ない理由により、上記以外のものを使用したい場合は、監督者の指示に従ってください。

ウ　志願者に対し宿泊施設の斡旋等は行っていません。

10　合格発表

博士前期課程

令和９年２月１５日（月）正午に合格者の受験番号を本学ホームページ（https://www.kpu.ac.jp/）に掲載します。

博士後期課程

令和９年２月１８日（木）正午に合格者の受験番号を本学ホームページ（https://www.kpu.ac.jp/）に掲載します。

また、合格者には、後日、合格通知書を郵送します。
なお、電話その他による問い合わせには応じられません。

11　入学資格の確認

合格後、入学資格を確認するために、卒業又は修了後、速やかに卒業証明書又は修了証明書を提出していただく必要があります。

なお、既卒者については、提出は不要です。

また、本学卒業見込者又は本学大学院博士前期課程修了見込者についても、その情報を本学で確認しますので、提出は不要です。

食の文化学位プログラム概要

「食」は人間の生命・健康に直結するものであり、これを支える生産・流通、消費、排泄にいたる循環運動は、人間の生涯においてあらゆる場面で関係し、社会の隅々まで影響を及ぼす。その過程で生じる多様な問題に対し、幅広い領域の学術を学際的、総合的に探求、文理融合型の教育研究を展開することを通じ、新たな知見・技術の創出を図るとともに、先人の知恵を次代へ保護・継承・発展に資するため、人・食・社会の課題解決に寄与できる人材の育成に向けて、各研究科の連携のもとに学位プログラムを設置する。

1　履修科目

博士前期課程

科目区分	授業科目
基盤科目	食の哲学
	フードシステム論
	食の人類学
	食の格差と貧困
展開科目(A)	食の日本列島史
	食文化の多様性と地域社会
	食文化と自然
	食文化と「美」
	京都和食文化フィールドワーク
	日本列島和食文化フィールドワーク
展開科目(B)	食の地理学
	食の世界史
	食の科学論
	世界の食文化フィールドワーク
研究演習	研究演習Ⅰ
	研究演習Ⅱ
	研究演習Ⅲ
	研究演習Ⅳ
	総合演習

博士後期課程

科目区分	授業科目
特別研究	特別研究（食歴史学）
	特別研究（食人類学）
	特別研究（食文化史学・食芸術学）
	特別研究（食環境政策学）
	特別研究（食地域学）
	特別研究（食心理学）
	特別研究（食化学）
特別研究演習	特別研究演習Ⅰ（食歴史学）
	特別研究演習Ⅰ（食人類学）
	特別研究演習Ⅰ（食文化史学・食芸術学）
	特別研究演習Ⅰ（食環境政策学）
	特別研究演習Ⅰ（食地域学）
	特別研究演習Ⅰ（食心理学）
	特別研究演習Ⅰ（食化学）
	特別研究演習Ⅱ（食歴史学）
	特別研究演習Ⅱ（食人類学）
	特別研究演習Ⅱ（食文化史学・食芸術学）
	特別研究演習Ⅱ（食環境政策学）
	特別研究演習Ⅱ（食地域学）
	特別研究演習Ⅱ（食心理学）
	特別研究演習Ⅱ（食化学）
	特別総合研究演習

２　修了の要件及び単位

〔博士前期課程〕

２年以上在学して、３０単位（基盤科目から４単位、展開科目（Ａ）から４単位、展開科目（Ｂ）から２単位、研究演習から１２単位を含む）以上を修得した上で、修士論文を提出し、審査・試験に合格した者には、修士（学術）の学位が授与されます。

〔博士後期課程〕

３年以上在学して、１２単位以上を修得した上で、指導教員の指導のもとに作成した博士論文を提出し、論文審査に合格した者には、博士（学術）の学位が授与されます。

不 正 行 為 に つ い て

1　次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、それ以後の受験はできません。また、既に受験したすべての科目の成績も無効となります。

① カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
② 使用の認められたもの以外の用具を使用して問題を解くこと。
③ 「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。
④ 願書に本人以外の写真を貼ること。
⑤ 本人に代わって受験し、又は、受験させること。
⑥ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
⑦ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類を使用すること。
⑧ 「解答やめ」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。

2　上記１以外に次のことをすると不正行為になることがあります。指示に従わず、不正行為となった場合の取扱いは、１と同様です。

① 試験時間中に、使用の認められたもの以外の用具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
③ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。
④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
⑤ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

出 願 書 類 関 係

出願必要書類一覧

研究計画書（社会科学研究科用）

学業専念承諾書（文学研究科・生命環境科学研究科用）
※企業等に勤務している博士前期課程合格者のみ
学業承諾書（生命環境科学研究科用）
※企業等への就職が内定している博士前期・後期課程合格者のみ

出願必要書類一覧【文学研究科】

必要書類	注意事項	文学研究科							
		国文学中国文学専攻		英語英米文学専攻				史学専攻	
		博士前期	博士後期	博士前期		博士後期		博士前期	博士後期
				（夏期）	（冬期）	（夏期）	（冬期）		
出願確認票等	出願サイトからA4サイズで印刷した「出願確認票（大学提出用）」、「受験票」	○	○	○	○	○	○	○	○
卒業（見込）証明書及び成績証明書	出身大学または専修学校のもの	○	×	○	○	×	×	○	×
修了（見込）証明書及び成績証明書	出身大学院のもの	×	○	×	×	○	○	×	○
論文	＊令和９年３月本学卒業（修了）見込者については省略可	○	○ 論文２部	×	○ 英語の論文３部（日本語の論文は英文要旨（Ａ４用紙３枚程度）を添付）	×	○ 英語の論文３部（日本語の論文は英文要旨（Ａ４用紙５枚程度）を添付）	○ 論文２部	○ 論文２部
	社会人特別選抜の志願者				×		×		
研究計画書	博士前期課程は、2,000字程度 博士後期課程は、4,000字程度	×	○	○	○	○	○	×	○
学業専念承諾書	企業等に勤務している合格者のみ ＊入学手続き時に提出	○	×	○	○	×	×	○	×

出願必要書類一覧【社会科学研究科】

必要書類	注意事項	社会科学研究科							
		公共政策学専攻				福祉社会学専攻			
		博士前期			博士後期	博士前期			博士後期
		（夏期）	（冬期）	（推薦）		（夏期）	（冬期）	（推薦）	
出願確認票等	出願サイトからA4サイズで印刷した「出願確認票（大学提出用）」、「受験票」	○	○	（注）	○	○	○	（注）	○
卒業（見込）証明書及び成績証明書	出身大学または専修学校のもの	○	○	○	×	○	○	○	×
修了（見込）証明書及び成績証明書	出身大学院のもの	×	×	×	○	×	×	×	○
論文	日本語に限る。 （注１）博士前期課程の公共政策学専攻（夏期・冬期）、福祉社会学専攻（夏期）の志願者については、学力試験「総合（小論文）」を受験することにより省略可 （注２）本学大学院公共政策学研究科博士前期課程修了見込者は、１部	○ ２部 （注１）	○ ２部 （注１）	×	○ ４部 （注２）	○ ２部 （注１）	○ ２部	×	○ ４部 （注２）
研究計画書	社会科学研究科の志願者 ＊本学所定の用紙に記入	○	○	○	○	○	○	○	○
推薦書	社会人の志願者のみ ＊在籍する所属の長の推薦書	×	×	○	×	×	×	○	×

（注）地方自治体等推薦入学の必要書類は以下のとおりです。
・入学願書等　：生年月日欄は西暦表記で記入すること。写真２枚を貼付のこと。
・入学考査料　：Ａ票への金融機関押印により入金を確認します。
・入試関係返信用封筒　：本学指定のものを使用。郵便番号・住所・氏名を明記し、切手４６０円※分貼付すること。
※定形郵便物（50g まで）料金に簡易書留料金を加えた料金。
料金が改定された場合は、改定後の料金で準備してください。
・連絡用宛名シール　：本学指定のものを使用。郵便番号・住所・氏名を明記すること。

出願必要書類一覧【生命環境科学研究科】

必要書類	注意事項	生命環境科学研究科						
		応用生命科学専攻			環境科学専攻			
		博士前期		博士後期	博士前期		博士後期	
		（夏期）	（冬期）	（冬期）	（夏期）	（冬期）	（夏期）	（冬期）
出願確認票等	出願サイトからA4サイズで印刷した「出願確認票（大学提出用）」、「受験票」	○	○	○	○	○	○	○
卒業（見込）証明書 または 修了（見込）証明書 及び 成績証明書	出身大学または専修学校のもの	○	○	×	○	○	×	×
修了（見込）証明書 及び 成績証明書	出身大学院のもの	×	×	○	×	×	○	○
研究計画書	Ａ４用紙で3,000字程度	×	×	○	×	×	○	○
研究内容の概要	Ａ４用紙で3,000字程度	×	×	○	×	×	○	○
志望理由書	Ａ４用紙で1,200字程度 １頁以内	○	○	×	○	○	×	×
TOEICの公式認定書	原本を提出すること。 ＊「TOEICデジタル公式認定書」のプリントアウトも可。 詳細は出願手続の項を参照	○	○	×	○	○	×	×
	他大学大学院からの博士後期課程の志願者で、栄養科学、食品科学、食環境安全性学、食事科学、健康科学、分子栄養学、動物機能学、動物衛生学の専門種目を志望する者			○				
	森林科学及び生活環境科学出題分野の社会人志願者				×	×	×	×
	数物・情報環境学出題分野の社会人志願者				○	○	×	×
学業専念承諾書	社会人の合格者のみ ＊在籍する所属の長の推薦書	○	○	×	○	○	×	×
学業承諾書	勤務内定者のみ提出すること。 ＊入学手続き時に提出	○	○	○	○	○	○	○
研究業績 又は 業務報告	社会人志願者のみ提出すること。	○	○	○	○	○	○	○

出願必要書類一覧【食の文化学位プログラム】

必要書類	注意事項	食の文化学位プログラム			
		博士前期課程		博士後期課程	
		一般選抜	社会人 特別選抜	一般選抜	社会人 特別選抜
出願確認票等	出願サイトからA4サイズで印刷した 「出願確認票（大学提出用）」、「受験票」	○	○	○	○
卒業（見込）証明書 及び 成績証明書	出身大学または専修学校のもの	○	×	×	×
修了（見込）証明書 及び 成績証明書	出身大学院のもの	×	×	○	×
志望理由書	A4用紙使用 日本語で記載する場合は、2,000字程度、 英語で記載する場合は、1,100ワード以内	○	○	○	○
研究計画書	A4用紙使用 日本語で記載する場合は、6,000字程度、 英語で記載する場合は、3,300ワード以内	○	○	○	○
論文		×	×	○ 3部	×
研究・活動概要	A4用紙使用 日本語で記載する場合は、10,000字程度、 英語で記載する場合は、5,500ワード以内	×	×	×	○ 3部

（社会科学研究科用）

（表）

研　　究　　計　　画　　書

フリガナ		男 女	生年月日	
氏　　名				

本研究科を志望する理由
研究テーマ
研究目的

（裏）

フリガナ	
氏　　名	

本人のこれまでの研究経過
研究計画・方法

※「研究計画・方法」について、紙面が足りない場合は、別紙を添付し、続けて記入してください。

【企業等に勤務している博士前期課程合格者のみ】

（文学研究科用）

学　業　専　念　承　諾　書

（合格者）勤務先＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

職　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

受験番号	

上記の者は、京 都 府 立 大 学 大 学 院　文 学 研 究 科　専攻博士前期課程に入学後は、貴大学院学則を守り学業に専念することを承諾いたします。

令和　　年　　月　　日

京都府立大学大学院文学研究科長　様

勤　務　先　名　称

代表者又は所属の長

（職名・氏名）　　印

【企業等に勤務している博士前期課程合格者のみ】

（生命環境科学研究科用）

学　業　専　念　承　諾　書

（合格者）勤務先＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

職　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

受験番号	

上記の者は、京都府立大学大学院生命環境科学研究科　　専攻博士前期課程に入学後は、貴大学院学則を守り学業に専念することを承諾いたします。

令和　　年　　月　　日

京都府立大学大学院生命環境科学研究科長　様

勤　務　先　名　称

代表者又は所属の長
（職名・氏名）　　印

【企業等への就職が内定している博士前期・後期課程志願者のみ】

（生命環境科学研究科用）

学　業　承　諾　書

（受験者）勤務内定先＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

上記の者が、京都府立大学大学院生命環境科学研究科専攻博士前期・後期※課程に合格し、入学した後は、勤務内定先の職員としての身分を有した上で、貴大学院学則を守り学業を行うことを承諾いたします。

令和　　年　　月　　日

京都府立大学大学院生命環境科学研究科長　様

勤務内定先名称

代表者又は所属の長

（職名・氏名）　　印

※どちらかに○を付けてください。

社会人長期履修制度について

京都府立大学大学院

京都府立大学大学院では、平成２７年度入学生から社会人長期履修制度を導入しました。

◆長期履修制度とは

長期履修制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（２年又は３年）を超えて一定期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度です。

具体的には、仕事や家事・育児・介護等との兼ね合いにより、標準修業年限在学する学生よりも１年間又は１学期間に修得できる単位数や研究・学習活動への時間が限られ、標準修業年限中には単位修得や論文作成が困難となる場合、長期の在学期間を計画的に設定して履修することができるものです。

授業料の総額は、標準修業年限で修了する場合と同じですが、許可された長期履修期間で分納することになりますので、通常の授業料に比べて、年額が低くなります。

１）長期履修の期間

標準修業年限を超えて一定の期間わたり計画的に教育課程を履修することを認められる期間は１年を単位とし、博士前期課程にあっては４年、博士後期課程にあっては６年を限度とします。

なお、在学年限は、博士前期課程は４年、博士後期課程は６年となっていますので、この年限を超えて在学することはできません。

２）申請資格

長期履修を希望することができる者は、社会人特別選抜制度による選考の上、社会人学生として入学を許可された者で、次のいずれかに該当する者です。

(1) 企業・団体等に在職し、標準修業年限で課程を修了することが困難な者
(2) 家事・育児・介護への従事により、標準修業年限で課程を修了することが困難な者
(3) その他やむを得ない事情により、標準修業年限で課程を修了することが困難な者

３）申請手続き

長期履修を希望する場合は、計画、履修・修学等に関して、出願前の事前面接時に面接教員と相談の上、長期履修許可願（別紙様式１）を、入学手続きの日までに次頁の提出先に提出してください。

なお、長期履修期間の延長は認められませんので、期間の設定は慎重に行ってください。

(1) 長期履修理由は、その必要性を、できるだけ具体的に記載してください。
(2) 長期履修計画は、初年度から各年度毎の、授業科目の履修及び研究計画などを具体的に記載してください。記載欄が不足する場合には、別紙として添付いただいても結構です。
(3) 面接教員の所見欄は、提出後に使用するものですので、空欄で結構です。

４）期間の短縮

長期履修は、認められた期間での計画的な履修が本旨ですが、事情がある場合には、長期履修期間の短縮をすることができます。

期間は１年単位で、標準修業年限(２年又は３年)を下回ることはできません。
短縮を希望する場合は、長期履修期間短縮許可願（別紙様式２）を、短縮された場合に修了を予定する年度に先立つ年度の２月１日から２月末日までの間に提出してください。
(1) 履修期間短縮理由は、できるだけ具体的に記載してください。
(2) 短縮後の履修計画は、これまでの履修状況と年度毎の短縮後履修計画を具体的に記載してください。記載欄が不足する場合には、別紙として添付いただいても結構です。
(3) 指導教員の所見欄は、提出後に使用するものですので、空欄で結構です。

５）許可の取消

虚偽の申請や長期履修を行わせることが適当でないと認められた場合は、長期履修の許可を取り消すことがあります。

６）授業料の額

長期履修を認められた期間の授業料は、以下のとおりです。
口座引き落としにより、各年度、前期と後期の年２回の分納となります。
(1) 博士前期課程については、長期履修の期間により
・３年間の場合は、年額３５７，２００円
・４年間の場合は、年額２６７，９００円
(2) 博士後期課程については、長期履修の期間により
・４年間の場合は、年額４０１，８５０円
・５年間の場合は、年額３２１，４８０円
・６年間の場合は、年額２６７，９００円
（参考）標準履修の場合は、博士前期・後期とも年額５３５，８００円

＊長期履修期間の授業料の総額は、標準履修の場合と同額となります。
＊長期履修期間の短縮が認められた場合は、授業料の額も変更となります。
・変更前と変更後の差額を、短縮が認められた年度に一括して納付いただきます。
負担金額が一時的に大きくなりますので、ご注意ください。
例）博士後期課程：６年計画を５年計画に短縮（４年次の２月に申請）
５年次の年額　３２１，４８０円
差額の納付額　２１４，３２０円（＝(321,480－267,900)×4)
＊金額は改定される場合があります。
＊在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料を適用します。

◆申請書提出先・問い合わせ先

学務課教育研究支援係　文学研究科担当　（０７５－７０３－５１１７）
社会科学研究科担当　（０７５－７０３－５１６９）
生命環境科学研究科担当　（０７５－７０３－５１８６）
食の文化学位プログラム担当　（０７５－７０３－５１７９）

＊長期履修の計画等、履修・修学等に関するものは、出願手続時の面接教員にご相談ください。

別紙様式１

長 期 履 修 許 可 願

年　　月　　日

京都府立大学大学院○○研究科長または食の文化学位プログラム長　様

○○研究科○○専攻
または食の文化学位プログラム
受験番号

氏　名（ふりがな）　　㊞

下記のとおり長期履修を、許可くださるようお願いします。

記

入 学 年 度	年
長期履修期間	年　月　日 ～　年　月　日（　年間）
現　住　所	〒　TEL
勤務先（職種）	（　）
勤務先所在地	〒　TEL

【長期履修理由】

【長期履修計画】

【出願手続時面接教員の所見】

教員氏名　　㊞

別紙様式２

長期履修期間短縮許可願

年　　月　　日

京都府立大学大学院○○研究科長または食の文化学位プログラム長　様

○○研究科○○専攻
または食の文化学位プログラム
学籍番号

氏名（ふりがな）　　㊞

下記の理由により、長期履修期間を短縮したいので、許可くださるようお願いします。

記

入学年度	年度
許可済の履修期間	年　月　日 ～　年　月　日（　年間）
短縮後の履修期間	年　月　日 ～　年　月　日（　年間）

【履修期間短縮理由】

【短縮後の履修計画】

【指導教員の所見】

指導教員氏名　　㊞

試　験　場　案　内

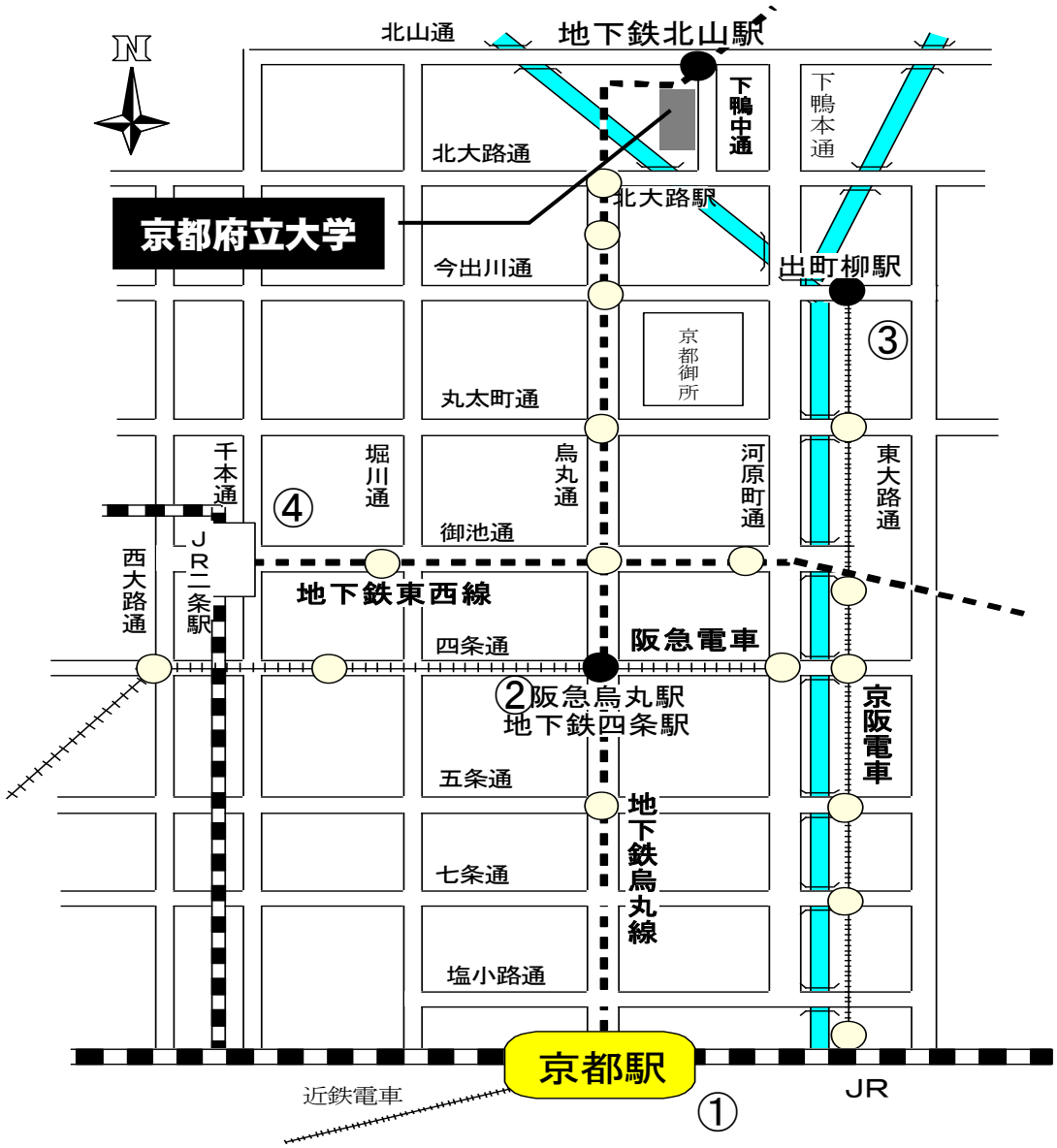
■入学試験会場　　京都府立大学
■所　在　地　　京都市左京区下鴨半木町１―５
■交通機関

①②ＪＲ京都駅・阪急烏丸駅から　　地下鉄烏丸線　「北山」駅下車　１番出口から南へ徒歩１０分

③京阪出町柳駅から　　市バス　１系統「府立大学前」下車　北へ徒歩５分
京都バス　32、34、35 系統「府立大学前」下車　北へ徒歩５分

④ＪＲ二条駅から　　市バス　206 系統「府立大学前」下車　北へ徒歩５分
地下鉄東西線「烏丸御池」駅下車乗換、烏丸線「北山」駅下車　１番出口から南へ徒歩１０分

（注意）
・試験場内への二輪車（自転車・バイク）、自動車等の車両の乗り入れはできません。
・昼食は各自持参してください。



入試に関する問い合わせ先

住　　所　　〒606-8522　京都市左京区下鴨半木町１－５

担 当 課　　京都府立大学学務課入試係

電話番号　　075-703-5144（直通）

E-mail　　nyushi@kpu.ac.jp